來ヨーロツパは日本と正反對で昔から大農組織の國であるから、自然小農に適した農具も少いし又小農の家族本位の農業經營も經驗してゐないし、尙ほ自作農たるべき農業勞働者なども單に勞働の供給者で農業經營の頭がないから自然收穫を減ずるのも無理はない。恰も日本の農民が大農法に慣れないのと同一で日本では大農組織は收穫を減ずると云ふのと同じ理由である。

土地の强制徵收も理論はよいが實際には無理が多いし、ドイツのゼーリング教授などもあまり賞めてゐないと云つたら數多い中には色々の批評もあらうし、兎に角世界でも空前の大事業だから不平反對のあるのは無理もないが大體支障なく行はれて居ると辯解し、次でゼーリング教授は何と批評されたか詳しく話してくれと之れは又熱心、僕は何もチエツクのみの批評を聞いたのではないが現在東歐中歐に行はれて居る土地の强制徵收は、ロツバリー(强盜)の趣がないでもないと笑はれたと話したら、どうもゼーリング教授には誤解があつて困まると何か外にも意見の相違があるらしかつた樣の口吻であつた。

土地改革の將來はと聞いたら、世界を支配すると豪い勢、二十世紀の大事業は土地の合理的分配による自作農創設維持にある。見給へ漸次に或は急激にヨーロツパを支配するからと、唯ヨーロツパとして目下必要の事は小農の經營上並栽培上の指導が最も必要で結局之れは敎育の力に俟つより詮方ないと云はれた。

何か會議中かで大變忙し相であつたから二三の參考資料を貰つて御暇した。僕の見たブルドリツク教授は矢張り精力横溢の人で然も主義に生くる學者と云ふよりも寧ろ經世的人物であつた。

三一　チエツクの共同耕作組合

農業プロの新しい試み

土地局のパベル君の好意で土地局の顧問のクナツプ氏に案内されて午前七時プラーグのウキルソン驛からニコボ・ハラデイステの共同耕作組合の視察に行く。十一月の二十七日と云へば中歐では零下二十度以下實に寒い日で雪すらチラホラ見へる惡い天氣、汽車は田圃を疾驅すること急行で約二時間、驛からは迎への馬車で先づ製糖會社に行く。

此の共同耕作の經營は後述する樣にイタリーに一九〇〇年頃から創まつて目下最も盛大に發達して居る農業經營の最も新しい企て、昨今例の土地改革に伴ひ、チエツクやルーマニア其他の國

々で創設された自作農の共同事業として奬勵されてゐる。共同經營の方法其他に就てはイタリーの共同耕作の際に詳しく説明しよう。此の日視察した共同耕作組合は製糖會社が資金の大部分を供給してチエック政府が大地主から强制徴收した土地を拂ひ下げ大規模に砂糖大根始め其他の農業を營んで居る。

會社の社長工學博士カール、エゲル氏が愛嬌よく迎へられて直に工場を參觀し、朝飯だと云つてビールや御馳走に預る。顧問のクナツプ君も快活の紳士で社長と二人共に英語は達者、一體チエック人はアメリカに何百萬と云ふ移民を出した丈に英語は何れも上手である。會社の幹部總出で歡迎してくれる。クナツプ君車中で僕がチエックの政局の批評やマサリツク大統領や外相のベネスの話をしたら非常に驚いて此所でもイキナリ僕を政治家に祭り上げる。瑞典でも農務次官のレカンダー氏が同國の大立物ブランテイングや政治家の話をしたらどうして詳しいかと驚いて居つたが、外國人と見れば何も知らん者と思つて居るせいか僕としては其國に入る前にちやんと大體は調査して知つて居るし、先方を信用させるに一番の策だから、各國議會の黨派別などもロンドンで調査して大體解かつてゐたがかういふことは馬鹿に感心して居つた。

支配人のカール エゲル氏は五六十の溫厚の紹士で製糖にかけては同國でも有數の權威者ださうで、チエックは又世界でも評判の砂糖國である。色々と會社の話を聞いた後馬車で雪を犯して共同耕作組合に行く。此組合はなか／＼大規模のもので馬車が着くと組合の技師長が先づ應接間に案內する。此所には組合の事務所と農舍畜舍を始めとして組合員の住宅がある。全部コンクリートの二階家である。

耕地は二百五十五町歩許りで二個所に分かれて居る。一九二三年（大正十三年）の一月から仕事を開始して主なる作物は勿論砂糖大根（シユガービート）であるが其外麥や馬鈴薯其他の野菜類も作つて居る。家畜も盛んで

乳牛百頭、小牛二十二頭、羊百七十頭、耕牛八頭、耕馬二十二頭

外に組合員は各自豚二、三頭鷄十羽乃至二十羽位飼つて居る。勞働者は組合員夫妻の外夏期に臨時に平均十五名位雇入れる。勞銀は一日

男子一、七〇クローン　女子一、四〇クローン

で勞働時間はチエックは一日八時間制、冬は六時間乃至八時間の由である。此八時間と云つても

忙しい時は時間を延長して此の時間增しに對しては普通二倍の賃銀を拂ふのである。ヨーロッパではスペインにも農業に八時間制が施行され、丁抹や獨逸では農業勞働組合聯合會と地主組合聯合會との聯合契約で定めて居る。

資金は固定資金として製糖會社から、百二十萬クローンを借入れ尙ほ政府に土地改革による農業勞働者の失業救濟資金と云ふのがあるがそれから二十七萬クローンを借りてゐる。利子は年四分で會社に對しては物納である。借入金は一九三八年卽十五ケ年賦で返濟の契約である。組合員の數は四十二家族で、組合員は一家族七百クローンの勞賃と馬鈴薯八〇キロ牛乳六〇キロ石炭三百キロ薪炭三立方メートルを組合から支給される。

稅金は一町步當百七十七、クローンで小作料は一町步二百七十クローンである。農業の經營は技師長の設計になつて此技師長はチェック政府から特派された經營の中心人物である。作物の關係や肥料の購入資金の調達生產品の賣買等は勿論組合員の總會にかけるが大體は技師長と組合の總代とで決定する。勞力の分配に就ては家族數を酌量してきめる。

農舍畜舍等の設備は堅牢本位で大規模である。農具などもトラクターや播種機、肥料散布機、

刈取機等を始め澤山ある。組合員の住宅は長屋住ひで餘り清潔でなかつた。丁抹の農家を見た眼には餘程見劣りがしたが然しクナツプ君や技師長は今日は天氣もよくないし掃除が惡いと辯解して賞めて貰ひたいと云ふ心理は氣の毒に思はれた。

共同耕作をして利益はあるかと聞いたら去年は早々の年で餘り儲からなかつたが今年は大變順調で此の分なら個人經營よりも利益は多いし、特に組合員の收入は多いと云つて居つた。始めての試みであり、どうしても四、五年の訓練は必要で、組合員の統御は骨が折れて、矢張り個人主義的傾向が一番厄介だと技師長の意見であつた。チェック政府の方針としては中心人物が一番大切だから特に政府で選拔して出來る丈便宜を與へて居る。

組合を辭してから又會社に歸り今度は社長の住宅に案內された。社長の奧樣も出て來て大變御馳走になつた。玆で驚いたのは奧樣が日本製の金紗や其外の絹織物を色々見せてくれて之れは日本製かと質ねられたこゝで何でもクナツプ君の話によると奧樣は婦人服の大きな商店をやつて居るとの話、僕の來たのを幸、鑑定して貰ふつもりだらうが相惡く其方にかけては全く素人、奧樣の話に近頃ヨーロッパでは日本趣味も相當流行しますがどうも善い品物を日本から直接買ふこと

が困難で、中間の人間にごまかされるには困まるとの話、然るべき日本の商店を敎へてくれと云つたから、三越と白木屋と松坂屋を敎へて日本一のデパートだと話し、更に若し取引をするならばプラーグの田村公使に相談する様に敎へた。此の製糖工場には日本人の視察もあるので壁に富士山の縫繪(ぬひゑ)がかけてあつて、神聖(セークレッドマウンテン)の山だと云つて頻りに賞めて居た。

晝食の御馳走になつてステーションに戻り、恐ろしく寒い日をホテルへ歸つたのが午後五時過であつた。

三二　世界一の農業博物館

ハンガリーの誇り

オーストリーのウヰーンから單獨(ひとり)でハンガリーのブダペスト行の汽車に乘る。車窓からヨーロツパ隨一の稱ある有名なダニユーブ河の沃野たるハンガリー平原を眺めると所謂一望千里だ。成程ヨーロツパの農業國丈あつて善く耕されて居る。ヨーロツパで農産物の自給出來る國はロシアとハンガリー位のものと聞いて居たが誠に素張らしく廣いもの、日本で千里の沃野など云ふせい〴〵三十里の平野とは全く桁が違ふ。寒さの殊に嚴しい中央ヨーロツパの十一月下旬のことであるからプラーグやウヰーンでは流水が凍つて居つた位だが、今日は又格別珍らしい善い天氣で陰鬱な晩秋の空と違つて太陽が柔かな光りを平原に投げて居る。寒國ではあるが雨量の少いせいか雪は少しも見えないので格別暖い日のためか兩側の畑には所々農夫が有名な馬の産地だけにハンガリー馬を馭して耕耘に從事して居る。畑には麥が青々した芽をふいて居るのや輪作の關係もあらう刈取つた穀類の跡がそのまゝ淋しい情景を呈して居る。やはり收穫の跡を日本の様に麥藁など畑のそこかしこに高く積み重ねてある。唯一番眼につくのは畑の如何にも狹く細長いことで幅は半町か二十間位で長さは五町も十町もある位、如何に大農で機械を使ふには便利とは云ふものゝ此れは極端すぎると恰度同室に舊ハンガリー人で今はルーマニアに併合せられて形式上ではルーマニア人である哲學か何かの大學敎授(プロフエツサー)が居つたから質ねると、かうゆふ畑はハンガリーに限らずチエツクルーマニア等の中央ヨーロツパの國々に澤山あるが農家が非常に困難して居る點である。相續の關係で昔は幅の廣かつた畑を段々に讓與(わけ)る際に分割した結果今日の様に細くなつたのだと云ふ。細長がすぎるから耕作上非常に不便で久しい前から農界の問題となり幸に現今は土地(コンマセ)

交換法があつて漸次交換して都合のよい位の形になつてくるが國內全體だから前途遼遠だと笑つて居つた。聽けば成程テツサー教授の「チェック土地革命」の中にもそんな話が書いてあつた何でもハンガリーやチェックを收穫時季前に旅行すると青や黄や濃淡とりどりの云はゞ細い縞模樣の畑が多いとあつたが此れだ此れだ。此土地交換法に就てはハンガリーやチェックばかりでなく和蘭でも後に詳しい話を聞いたが誠に適切の法律で差しずめ日本の農家畑の樣にあちらこちらにちらかつて居る國では大に必要である。此のルーマニア教授話が仲々好きで五六時間の車中の話相手には持つて來い、ヴュルサイユ會議の暴狀を訴へてハンガリーを救つて呉れるものは同人種たる日本より外はない。日本はアヂア人種の盟主と吾々は仰ぐからどうかよろしく賴むと。ブタペストで日本ハンガリー協會の音樂會に招待されて始めて詳しい話を聞いたが、ハンガリー人の日本崇拜は非常なもので目下國王がないから日本の皇族を推戴したいと云ふ一派がある位、會長幹事長始め日本語の達者な人間が十人ばかり當夜も居り、兎も角僕等の英語所ぢやない流暢なもの、會長は元東淸鐵道の技師長をして居つたと云ふので當夜も日本の音樂に就てと日本語とハンガリー語で講演し、三味線や都々逸など僕等の知らないものまで、實に巧いのには驚いた。ハンガリーとフィンランド人はヨーロッパに於ける唯二つのアヂア人種で、東に行くのを間違つて西へ牧草を追つてやつて來た擧句、ハンガリー人はダニューブの沃野に巢を食つた譯、姓名の書き方も他のヨーロッパ人と異り姓が先きで名が後と云ふ點は東洋流である。

話は一寸外れたが四日間のブダペスト滯在は親切な日本人の今岡十一郎君が案內してくれた賜もあり誠に愉快、ハンガリー及ハンガリー人に忘れられぬやはり懷みが出來た。ブダペストに着いて農務省や土地裁判所や中央農會を訪ねた後今岡君の案內で世界一との評ある農業博物館を見物した。

其日は中央ヨーロッパにふさはしい馬鹿に寒い日であつたがブダペストに中央ヨーロッパ研究のために二ケ年間滯在して居る丈に地理には非常に明るいから、電車で難なく農業博物館に到着する。建物から仲々美事な感じのよいもので、一九〇〇年に始めて同七年に竣工し、建築費や內部の陳列費等で約百十萬圓かゝつて居る。ブタペストの公園にあつて冬はスケートで滿都人士の集まると云ふ大きな池に臨んで風致のよい所、建物はルネサンスやゴシツクやロマネスク式の三樣のスタイルから出來てゐるハイカラのもの、館長のアラヂョス、ドパイカート氏の案內で隈なく

見物する。農業、畜產、漁業、林產に亘つて各種の驚くばかり澤山の出品が陳列してあり、原料品はもとより加工品及び加工の順序を出來るだけ實物を以て示して居る。保護鳥獸各種各樣の農民生活の狀況世界一發達して居ると云ふダニューブ河の河岸工事の具合、各種試驗の成績、手農具や最新の機械農具即ち廣い意味の農業に關係せる參考品が全部整然と陳列して居る。場內も二十年前に百萬圓以上を費しただけに隨分廣く、外國の參考品中に日本の養蠶の實況から製糸の狀況まで陳列されて日本娘の甲斐々々しい人形姿も流石に眼についた。養蠶をやらないハンガリーには珍らしいに違ひない。其外此の博物館では時々講演會や農業上の印刷物を發刊したりする。

此博物館の由來は比較的新しいもので、一八九六年に開催されたハンガリー建國一千年紀念の共進會の際に農業博物館設立の希望が各方面に起り、此を機會として最初は右共進會に集めた陳列品を基礎として半永久的のものであつたが、段々成績を認められて今日の永久的建築物を新築した。

館長のアラヂョス氏は年の頃六十に近い溫厚な紳士で、アメリカに留學したと云ふ丈に英語は達者で親切に案內した上に色々のハンガリーの農業特に大戰後社會黨內閣に依つて創められた土地改革の實況に就て說明された。何分獨逸側であつたゝめに鐵や鹽の產地や森林地方をチェックとルーマニアに割讓したから、國は小さくなるし、加之(おまけ)に例のベラクーンの實に怖るべき百五十三日の過激派の天下が續いたゝめに全く慘めな國となつて戰前の產業狀態になるのは何時かと嘆息して居つた。唯ハンガリーは農業國で幸ひダニューブの沃野があるので食糧に困まらぬから、どうかからうか生きて行けるが、其他の工業的原料品が實に貧弱だから困まる。土地改革は大農の土地を强制徵收して自作農を作るのだから趣旨はよいが何しろ政府に金のないために思ふ樣にいかぬ。大體英雄地と稱して戰爭の功績のあつた兵士に與へたのと小作人勞働者に低利資金を貸して年賦で返へさせて居る。土地强制徵收や自作農の創設はハンガリーでは土地裁判所を新設してやらせて居る。裁判所だから面白い。土地裁判所の副總裁にも遇つたが大變親切に材料を呉れた。ハンガリーの農業で目下一番困まることは資金のないことで、利息は馬鹿に高く農村では三割以下の金は六ツケ敷(しく)、ひどいのは月一割だと云ふ話、之れに大戰後の農產物の暴落で泣き面(つら)に蜂だとこぼして居つた。館長の話に日本人はよく視察に來るがブダペストの景色見物位でなく、今少し徹底的にハンガリーの農業は勿論此博物館も視察して貰いたいと確に痛い所を突く丈の識見を

持つて居る篤學の士であつた。

此の農業博物館は確に世界一と誇るだけの値打は充分、他の國の持つて居らぬハンガリーの誇りである。

三三　日本の農村問題研究家

萬國農事協會のペリス君

十二月四日ローマの大使館を訪ねて、森參事官に遇つたら恰度善い人が來て居ると云つて紹介されたのが萬國農事協會の日本部受持のペリス君、年配三十五六、英語も可なり話すし、佛蘭西語は達者である。一體伊太利人はフランス語が一番上手で英語は案外やらぬ。獨逸語は尙更いかぬ

此のペリス君は實に篤學の士で、日本語は會話は出來ぬが日本の官報や新聞紙が讀める位、彼の小作調停法の如きもペリス君の努力で萬國農事協會には佛譯と英譯がある。之れで面白いのは僕が萬國農事協會を訪ねた時此の小作調停法の噂が出て大笑ひ、日本には小作法がなくて小作調停法が出來たと云ふが事實かと云ふから、眞逆嘘は云へないから此の通りと云へば幹がなくて枝葉がある樣なものと云ふから、僕も小作法がないから之れが小作調停法の必要な譯とヒヤカしたら大笑ひした位、兎に角日本政府の遣り口もローマで一口噺になるだけの價値はある。

ペリス君の日本農村問題の研究はなか〳〵眞劍で新聞も大阪朝日毎日や東京のいくつかの新聞を取り寄せ官報は勿論、帝國農會報や農村問題の著書など澤山にある。外國人でペリス君位日本の事情を知つて居る人は少いし、日本の政界の模様も加藤がどうの犬養がどうのと政黨政派の別も知つて居るし、とりわけ後藤子爵の崇拜者で新しい政治家だと頻りに賞めてゐた。やはり外國人は宣傳上手の又賑かな後藤さんの樣な人が好かれるに違ひない。農村問題に就ても最近の狀況も相當詳しく、日本の農村革命は避くべからざるものだと斷定を下してゐる。小作料が收穫の五十パーセント以上だなんて全く世界無比、伊太利の一九〇〇年以來の農業爭議でも到底こんな高い小作料は見たことがない。一體どうして日本の小作人は生きて居るか不思議ぢやないか。而して殆んど五割が小作農とすれば將來の騷動は可なり深刻に違ひないと伊太利の農業爭議の話をされた。伊太利の農業爭議も隨分深刻のもので流血の慘を見て今日の共同耕作は發達し、小作農なり農業勞働者なりの現在の確固たる地位は築かれ、又伊太利の農業の進歩殊に生產額の増加は全

く小作農なり勞働者の自覺による共同耕作の御蔭で結局農業爭議の賜だと說明された。

ペリス君は思想は新しいが大のムツソリニー黨でムツソリニーの崇拜者、僕がフワシストの惡口でも云ふと一生懸命に辯解するには恐れ入つた。やはり善い意味の愛國の青年黨である。日本のフワシストに對する空氣は如何(どう)だとか頻りに聞きたがるし、尙ローマの日本大使館の內容なども可なり知つて居る。落合大使の意向がどうの、誰々がどうのと面白い批評をしてゐた。

僕のローマ滯在中は殆んど每夜ホテルに來て調査資料の提供や何かと手傳をしてくれた。誠に親切で所謂自分の好きな道のために盡すと云ふ考へ、伊太利の共同耕作組合の硏究に就ては大變世話になつた。

或晩餘談の際に僕がベルリンで日本政府から召還されたが調査中なので命令を斷はつて各國を步いて居り、現に二三日前免官になる豫定の電報が來たと話したら大變ペリス君も昂奮して日本政府は無茶(ノンセンス)である。眞面目に硏究して居る人を虐めるとは實にひどい遣り口だと憤慨し、此れ以來別して親切にやつてくれた。ペリス君も伊太利人だ、何所か日本人に似通つた所がある。云はば熱血男子の流れ、伊太利フアシストの戰士中にはペリス君の樣な純潔な祖國愛の人が多いに違ひない。二三年の中に是非日本に遊びたいと何度も繰り返して云つた。そして日本に來たら田舍の農家に世話になつてみつしり日本の農村問題を硏究したいと云つて居つた。僅か十日許りの交際だつたが訣れる時は實に何となく後髮をひかるゝ思ひがあつた。萬里の異域に來てもやはり人情には少しも變はりなく、親切ほど身に滲みて嬉しいものはない。

三四　世界一の共同耕作組合

ロヂオエミリアの二日

1　ステシヨンの啞問答

伊太利のナポリから夜行列車でロヂオエミリアに着いたのは十二月十五日の午前六時四十五分まだ少々薄暗い時刻、人口四萬あると云ふが日本人は勿論他の外國人も餘り來ない田舍町、ステーシヨンに着いたが英語の出來る人間は一人もない。汽車の中で眞逆(まさか)の時にと思つて赤帽とチツキと云ふ伊太利語を覺えて下車すると勢よく赤帽と呼ぶ、何でも從來の旅行の經驗でステーシヨンやホテルでは勢よく大きな聲で呼ぶに限る。赤帽先生飛んで來て何やら云つたからウン／＼と

大きくうなづいてチッキにと大聲で命令する。心得たと云つたのだらう手荷物所に持つて行つたのは善いがさあこれからが大變、僕も一時預けと云ふ伊太利語を知らんし驛員は又一人も英語が解らない。僕のトランクのナポリ驛でつけた巴里と云ふ名札を見て巴里送りと合點したらしい。一時預けと云ふ意味が解らない、とう／＼驛長も來て來る。巴里行の札を出すと僕が首を捻る、首を横に振るとさうでないと云ふ意味だけは解る。僕が手眞似で又夕刻に歸つて來るとやるが一向意味は通じない。段々やつて居る中に三十分もかゝつてやつとあれもこれもいけない中に一時預けと云ふことが解つたらしい。兎に角僕の周りにザツト三十人餘りも伊太利人が取り卷いて大騷ぎ、決死の覺悟で來たからにはちつとやそつとのことにはビクつかぬ丈の度胸は出來た。

2 親切なロシア人

伊太利の農務省や例のペリス君から貰つた紹介狀でやつと目指す農會は見付けたが又英語が殆んど解からない。止むなく書記の一人が案内して此の町で英語の一番出來るロシア人の所へ案内して行く。雨のソボ降る嫌な日を一哩も何が何やらサツパリ解からず後をついて行く。

やがてロシア人の家に着くと年の頃六十位のゴマ鹽の老人が出て來て元氣よく英語で語しかける。砂漠でオーシスを見付けた様のもの、今朝以來の出來事を談したら大笑ひ。宜しい午後ホテルに訪ねて萬事相談しますと午前中は英語塾を開いて忙しい。此の老人名はセルヂオ、ド、コレネフと云つてロシア帝政時代の伯爵で近衞中佐までやつて居つたがレーニンの革命で亡命して此の伊太利の田舍に逃れて英語の先生をして暮して居ると云ふ數奇な運命、不思議のことにセントピータースブルグ時代廣瀬中佐と懇意であつたと云ふて日本人は皆廣瀬中佐の様な人間と思ひ込んだ大の日本人贔氣、戰爭に負けても日本人は大好きだが支那人は大嫌ひ、何でもレーニンの革命の際澤山の支那人が手先になつて暴虐を働き金にさへなれば死骸でも探し廻る極道な人間は支那人だと云つて支那人を非常に攻撃してゐた。午後には約束通り來て夜もビトランヂエリー教授に案内し、翌日も夜まで自働車で塾を休んで大變親切に案内してくれた義俠的な人間であつた。

3 共同耕作組合幹事の私宅訪問

ホテルに午後四時頃コレネフ老人がやつて來て、共に晩餐をやつて老人の案内によりロヂオエ

ミリア共同耕作組合聯合會幹事ビトランチエリー教授を訪問した。教授の令孃に英語を敎へると云ふのでコレネフ老人よく知つて居る。暖い應接間に通されて教授と三人で心地よく快談する。年の頃五十、沈着の中に熱のある紳士であつた。僕の用件を話した所が幸明日は所屬組合の檢査に出かけるから一所に案内すると云ふ願つたり叶つたりだ。

教授からは伊太利の共同耕作組合の出來た原因や近情等を聞いた。僕が日本の農業の現情を書いた八・九頁の印刷物を御目にかけて說明したら、始めて日本の農業が解かつたと云ふて大喜び、唯一町歩平均の耕地でどうして一家を養へるかと非常に不審氣に質ねられた。ヨーロツパでは伊太利は小農國であり又北部伊太利の畑は僕の見た中で一番小さい樣であつたが農家一戸當り平均一町歩には流石に眼を丸くして居つた。

4　共同耕作組合の視察

朝八時と云ふにコレネフ老人、ビトランチエリー教授、聯合會長ダボリウンベルトの三君が迎へに來る。南伊太利のナポリでは十二月中旬外套はいらぬ位の恰度日本の四月頃の暖さであつたが北伊太利は流石に寒い天氣で畑に霜は一面あつた。

此邊は所謂ロンバルデイーの沃野で、伊太利としては屈指の農業地ポー河の流域である。自動車の運轉手は獨逸語が達者で何かと談す。何でも先日九州大學の橋本傳左衞門教授が來たので自分が自動車で案內したと云つて居た。

かれ此れ二時間も走るとサンタビトリアの共同耕作組合に着く。組合の幹部一同に迎へられて農舍を視察する。家畜農業が盛んで乳牛、豚、肉牛等で約四百頭居る。家畜では乳牛が一番經濟的との話、畜舍なども全部コンクリートで堅牢のものであつた。耕地は約四百十町歩、組合員は七十名評議員が十名、耕地は九區に分れて各々に區長があり、畜舍には各畜舍主任がある。組合には組合長の外に支配人があつて農業經營の大體の方針は組合の評議員會と總會で決定するが、細目や勞力の分配等は支配人が各區長の意見を參考として定める。勞力の分配は最も困難で結局家族の數を標準とし循環的に分配する。賃銀は一日平均百リラで一週間毎に其八割を支拂ひ、後は損失平均準備金として貯へ半期の決算の際に損失がなければ勞働に應じて分配する。賃銀は勿論世間並の賃銀である。賃銀は一部分生產物で一部分は金である。組合員の生活に必要なものは

生産物で受取る、毎年十一月十一日が決算期である。生産物は麥類、トーモロコシ、バター、チーズ、牛乳、生肉、ベーコン、トマトー、葡萄、其他野菜物である。耕作は勿論輪作である。資金は三十八萬リラで全額拂込み低利資金は一時五百萬リラあつたが現在は五十萬に減じた。利子は五分五厘である。

利益金の分配法は二割が普通準備金で一割が特別災害積立金、三割が普通改良積立金、一割が家畜積立金で其殘りの二割は勞力に比例して分配するが、十六年繼續の組合員は平等に最高額を受ける特點がある。

此組合には感心のことに歐洲大戰に戰死した組合關係者の孤兒院があつて三四十人の孤兒を收容もして居るが其設備など感心のものであつた。やはり農業プロレタリアートの仕事丈あつて御互の同情心から相互扶助的に施設してゐる。

5　奇問百出の歡迎會

晝食には組合の手料理で僕の歡迎會が開かれた。鷄を料理つて甘い葡萄酒や野菜物さては肉類は御手のものだけあつて豐富のものさ。食卓萬端急造でテーブルに集まつた連中二十名餘り、服裝から何から流石に農業プロレタリアートだけあつて無造作が嬉しかつた。ヨーロツパの各國の農家で時々御馳走になつたが御馳走の一番は鷄の丸燒きらしい。鷄の丸燒きが出た時は歡迎の最高潮に達した時である。

話の上手なコレネフ老人やビトランチエリー教授の冗談に花を咲かせて一時間餘り愉快に飲み且食べた。食事が終はつたからコレネフ老人を介して僕は今日の歡待の御禮と同時に伊太利の共同耕作事業は世界に於ける農業經營の革命の先驅であり、過去數千年下積になつて居つた農業プロレタリアートの大勝利であると云つて祝盃を擧げ尙ほ折角の御厚意に報ゆるため、日本についての質問に喜んで應ずると云つた。ウンベルト聯合會長は起つて、順序があべこべになつたがと笑ひ乍ら歡迎の辭を述べて、極東の日本の同志と共同耕作組合に此のムサクルシイ建物の中で伊太利共同耕作組合の同志が共に會食したのは一の歷史的事實である。共同耕作組合について此れだけ詳しく調べてくれた外國人は始めてゞあると御世辭を云ふ。

次に口をきいたのがビトランチエリー教授で始め伊太利語で次に英語である。曰く日本と支那

は海を隔てた隣國であるのにどうしてあれほど文化の程度が違ふのか不思議でならない。ヨーロッパにはあゝゆふ現象は見られないと、流石に學者だけにネライ所が違ふ。コレネフ老人の通譯で僕が答へる。曰く支那は國家にして國家でない、云はゞ中心のない國で、主權者と云ふものがあつてない様なものである。從つて文明の發達に一番必要な秩序がたゝない。武人政治で强盜の親分が地方の總督で、其頭(あたま)の程度はアフリカの野蠻人と餘り相違はないからと、此のアフリカの野蠻人が大變面白かつたと見へて此れなら僕等も行けば總督や大統領になれると大笑ひ。

次は組合の連中の一人が乃木大將のハラキリはどうゆふ譯か、あれだけの大人物が死んだ國王に殉死するとは何か我々に解らぬ理由があるだらうと。

一寸奇想天外の質問だが、ヨーロッパ人殊に伊太利の共同耕作組合の様なプロレタリアートには當然の質問で、さるにても伊太利の草田舍の農民迄乃木大將の名を知つて居るとは意外中の意外であつた。

僕も此質問には一寸困まつた。どうして彼等に納得する様に話したらと考へた末、日本人は國王に對して信仰的の敬愛心を持つて居る、神と同様に信じて居る。而して日本のサムライの一番

大切なことは國王に忠義をつくすことであり、又死所を選ぶのがサムライの最後の願である。死ぬのは易いが死ぬ時と場所とを選むことが六ツケ敷い。即ち死んで而して生れて居る以上の感化を世の中の人に與へらるれば人間として最高の義務を果したものであると云ふのがサムライの人生觀であると。コレネフ老人こゝは最も得意の所で、老人日本の研究は仲々詳しく新渡戸さんの武士道や小泉八雲の書いた書物もいろ／＼讀んで居るから、僕の云ひもしない忠臣藏の話までしてサムライを賞めちぎる。自分が二日間塾を休んで日本人を案内するのも此のサムライ精神に惚れたからだと。死ぬまで働かねばならぬと信じて居り、而して國王などを何とも思はぬプロレタリアートの連中に僕の話の意味が解かつたかどうか、頗る疑問ではあつたがコレネフ老人の長廣舌に沈默させられて第二の質問は出なかつた。

今度は僕の番だ。曰く伊太利人の武勇はシーザー以來世界に知られて居るが、今度のヨーロッパ大戰に伊太利軍が稍もすると墺太利の弱兵に敗れたのは意外であつたと、少し露骨とは思つたが質問すると、組合員の一人が卽座に、今度のヨーロッパ戰爭は伊太利國民の戰爭でなく、國王や資本階級の連中の戰爭で、我々プロレタリアートには何等の關係もない。從つて强制的に徴集

されて戰線には行くが死んでは馬鹿氣だから隊をなして降參して怪我をしない工夫をした。然し吾々自身の仕事である此の共同耕作事業のためなら先年血も流したし、又喜んで戰ふつもりであると、意氣軒昂として答へた。成程彼等に乃木大將の殉死は解からぬのは當然である。

6 共同耕作組合の話

イ、**共起因** 伊太利の共同耕作組合の起つた原因は小農人や農業勞働者が農業を自分の土地で自分の仕事としてやつて見たいと云ふ強い自覺のためで其近い原因は、今から二十五六年前伊太利に起つた農業爭議の結果地主小作農業勞働者が互に血を流して爭つたので、どうしても自分等利害を共にする者が團體を作つて農業せねば駄目であると苦い經驗から必死の覺悟でやる樣になつた。而して彼等の直接の目的は第一に中間者の排斥と失業の防止とであつた。中間者と云ふのは地主から大規模に借りて此れを又貸しする連中で中間にあつて所謂鞘を取る狡猾の群である。失業の防止と云ふのは從來の個人經營の農業では仕事の量も少く生産額も上らないから大規模に共同的にやれば仕事が殖へると云ふにある。

ロ、**共同耕作組合の種類** 此の組合には三種類ある。

第一は小作同盟で組合員各自は獨立した農業を營んで居り、農舍も農具も自分のものである。唯組合は土地を大規模に借りて組合員に分けてやり、支配人があつて連絡指導の任に當り、肥料農具の共同購入共同使用をして收穫は折半すると云ふ分益農の組織である。

第二は分割的共同耕作組合で組合員は土地の分配を受けて各自農業をして居るが、第一種類と違つて全く組合に從屬的で唯土地を分けて貰つただけで經營一切組合の監督の下にやる眞の分益農である。

第三は眞の共同耕作組合で組合が大規模に購入又は借りた土地を共同的に耕すので、組合員は勞働者として働くのである。然し組合は又組合員のものだから一面から云へば企業家資本家で他人の仕事をするのでは全然ない。組合の幹部としては組合長評議員及支配人があつて大體の計劃は幹部で定めたものを總會にかけて決定する。細目は實際の經濟上のことは支配人任せであるから此の支配人の選任は共同耕作組合の一番大事のことである。組合の事業の成功失敗の大部分は此の支配人の選任にあると云つてよい。

組合で問題なのは勞力の分配と利益の分配とで勞力の分配は組合員の家族の勞力に比例して大體分配し、各耕區に區長があつて申出すと支配人が案配する。場合に依つて勞力が不足すると外部から雇入れるし、又勞力が餘る時は組合の承認を經て外部で働いてもよい。勞賃は世間並の賃銀を出すが、組合の損失補塡金として一割か二割は組合に預つて置いて、一年毎に決算の際餘れば勞働に應じて割り戻す。

利益の分配は積立金として一二割、損失準備金として一二割、農具農舍の償却金や耕地の改良資金として一二割を取つて殘りを勞力と持分に比例して分配する。

持分は普通一〇〇リラから少いのは十リラ位まであるが段々に增加して行く。資金は第一が借入金で此れは聯合會の手によるか政府又は信用組合聯合會から低利に借りて利子は五分五厘が普通である。組合員の預金も古いものは相當にあり、當初の借入金の全部若くは半額位償却したものもある。

經營の內容は所謂工業的農業で、家畜農業を大規模にやり牛や豚の飼育が中心、バター、チーズ、ベーコン、ハムの製造から牛乳も多量に賣り出す。農業は葡萄の栽培、野菜物穀作類で各組合の生產物を集めて聯合會に大きな工場があり葡萄酒やトマトソース等を作つて販賣する。

ハ、**共同耕作組合の成績**　成績は個人經營の時代に比べると三倍以上に生產額が增して勞力の需要も二倍以上に殖へたと云ふ。其理由は從來個人經營時代には農業が粗放的で、全部雇入勞力で勞賃との採算上やるのだが儲からぬと見れば耕地や設備はあつてもやらぬ。共同耕作となれば勞力は組合員自身だから自分から仕事を作り仕事のあらん限り働く、即失業の防止が目的だから作物の內容も殖へるし、原料で賣らないで出來るだけ加工もする。自分自身の利益になるのだから、仕事も丁寧で生產額の增加するのは勿論である。殊に家畜農業の如きは手がこむで入用だから勞力の多い組合事業には競爭出來ない。其結果生產額が增加し勞力の需要が殖へたから、組合員の幸福ばかりでなく、國家的にも大なる利益となつた。次に共同耕作組合の實際の成績は如何がと云ふに創立の古いものは大體成功してもう基礎も堅實となり、第一資力が次第に充實して來たし組合員も事業を諒解し利益が多いので訓練も出來てきたから着々立派な成績をあげて居る然し大戰中に出來たものは半數は失敗した。其理由は當時農產物の好景氣につれ、高い小作料と高い設備をしたゝめに、戰後農產物の下落につれて收支がとれなくなり解散の餘儀なきに至つた。それに國粹

派のムツソリニーは共同耕作組合が、社會黨臭味が多い連中の手になつて居ると云ふので、當初壓迫を加へたゝめに資金の融通上非常な苦心を甞めたが今日は大に諒解して援助するさうである。

二、共同耕作組合の注意すべき點

第一は組合支配人の選任で此は前述した。第二は組合資金の調達で聯合會で出來てから大に便宜を得た。第三は組合員の訓練で始めは餘り大きくやらず組合を諒解した小數の同志から始めることが肝要、而も利益を見せてから希望者を入れて漸次他に及ぼし少くも四五百町歩位やらねば充分の仕事は出來ない。

7 ロヂオエミリア聯合會

他に三四の組合を自働車で視察したが大同小異で夕刻ロヂオエミリアの聯合會に着いた。こゝはビトランヂエリー教授の本陣で五階建の實に堂々たる大きな建物である。澤山の事務員が居つて所屬の各組合との連絡から、生産物の加工販賣仲々大規模である。自働車なども一噸貨車が五六臺あり、トラクターも二十馬力以上のが四、五臺あつた。其他の農具も同樣で悉く揃へてあつて各組合に貸すのである。

地下室には葡萄酒の釀造場があつて葡萄壓搾器から釀造の裝置實に豪いもので葡萄酒を二階に運ぶ管など直徑三寸位ある。僕に是非澤山飲んでくれとコツプを出されたが日本流の小さいコツプと違つて西洋流のビールのコツプだから二合も入る。一杯のむのが全くやつとでビトランヂエリ教授に笑はれた位、日本人の樣に葡萄酒を甞める口には桁が違ふ。それもその筈、日本の五分の一位の價格でコツプの中に二三割入れて水をついでビールの樣に飲み乾す國だから

此の聯合會が出來て共同耕作事業は大發展をした。聯合會の役目は資金の調達、經營の指導帳簿の整理、農具の共同購入、生産品の加工販賣等で所屬組合は唯生産に一生懸命從事して居ればよく、大變經營が樂になつた。

尚此の聯合會の新しい試みとして聯合會自身直營の農業經營を始めたことで、將來は所屬組合を一丸として分農場式にやりたいと云つて居つた。

午後七時半のミラン行の急行列車の時間もあるのでコレネフ老人にも惜しい訣れをしてホテルに立寄り午後十一時北伊太利第一の都會ミランに着いた。

三五　バルチエリーの米作試驗場

米作の機械化

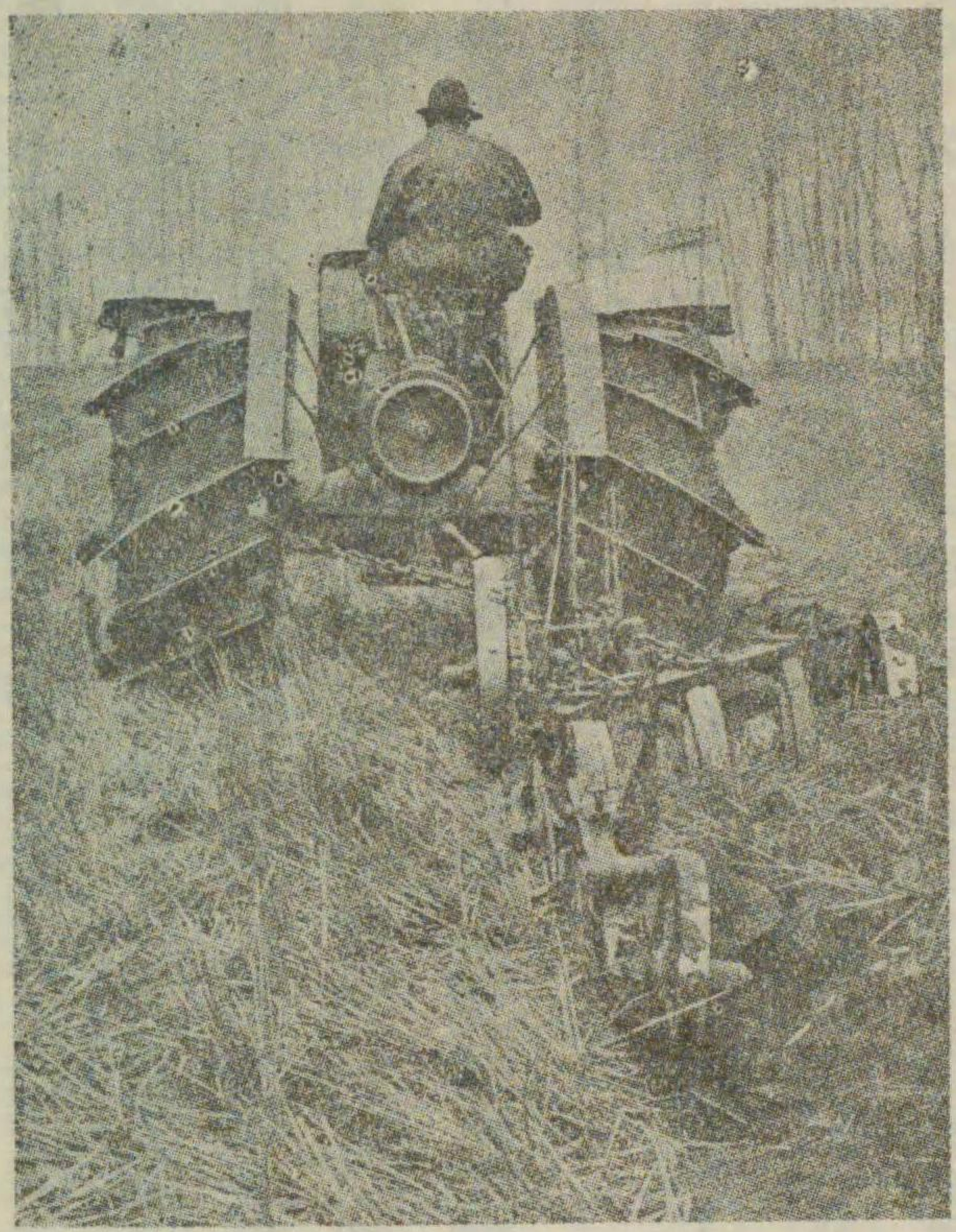
ロヂオ、エミリア附近の共同耕作組合を視察した翌日北伊太利隨一の都會で伊太利の工業地であり、又素張らしい大きな會堂で有名なミランを見物した。此頃はフワシストの發祥地とし、御大ムツソリニーの旗上げ地として有名になつた。

ミランの見物も午前中で切り上げて十一時四十五分伊太利米作地の中心地であり、米作試驗場のあるバルチエリーに向つた。天氣の大變穩かな日で何となく十二月の中旬ではあるが途中の景色は春めいて居つた。汽車は田園の間を走つて葡萄畑も多いが此邊一體に畑の區劃は割合に少さい。英國やドイツ偖ては中央ヨーロッパの國々を歩くと畑が馬鹿に大きく一枚が三四町歩も五町歩もある位、到底日本の様な花壇式の畑は見られない。或アメリカ人が日本の田畑を批評して日本には花壇が多いと云つたのも或意味から云へば無理もない。靜かな麗かな日光を畑に投げてゐる様は誠にのんびりする。此れに冬とは云へそこゝの牧草や芝生は眞青で生き〳〵して居る。牛の群も所在に見へて今日ばかりは汽車中のスティームの暖かいせいもあるが蘇み返つた様な氣持になる。一體ヨーロッパの芝生は日本と違つてノルエーの雪の中でも年中青々してゐるのが不思議、一年の旅行中枯芝を見たことがない。汽車が追々バルチエリーに近づく、憧憬の水田が目につく、藁株の高いこと一尺以上は無論あらう。長方形の田で然も五間位の幅でとぎれて居る、と思ふと青々とした芝生の上に水がなみ〳〵とかゝつてゐる。水田に芝生は可笑しいと思つたら、牧草が作つてあるので所謂輪作のためであらう、日本の水田を見た眼には實に珍らしい。十二月の中旬に水田が青々としてゐるのだから驚かざるを得ない。冬の田を見る様な所謂荒涼たる感じは少しもなかつた。

汽車は一時間遅くれて午後二時バルチエリーに着く。驛の青帽——日本の赤帽と違つて青帽だ——に米作試驗場は何所かと聞いた所が英語は解らぬが不思議のことにうなづいて見せるのみか僕のトランクを持つてズン〳〵歩き出す、言葉は勿論通じないが驛前の公園を抜けて行くから後をついて行く、ステンションの公認青帽だ。まさか强盜や追剝の類でもあるまいと度胸を定めて行くが早いこと夥しい。どうもコンパスが長いせいかヨーロッパ人は歩くことが早い様だ。ロン

ドンや巴里で彼等と歩くとなかく\疲れる。

やがて十町も歩いた思ふと、とある所に止まつた。どうも日本の農事試驗場を見た眼には附近に畑もなければ田もないから可笑しいと思つてゐると青帽ツカ〱入つて何か交涉すると事務員らしい婦人が出てきて英語で御入り下さいと云ふ。助かつた！啞の旅行も始めて救はれた樣の氣持、內心不安でないこともなかつたが青帽先生實は誠に親切の案內者であつた。應接間に入ると技師らしい人が見へたが英語はさつぱり解からない。前の女の事務員に聞くと場長は今日出張で相惡く留守だが今英語の少し解かる次席技師を迎



伊太利水田の耕耘狀況

伊太利の米作地は北伊バルチエリーを中心として同地には試驗場がある。伊太利の米作は總て機械的大農である。

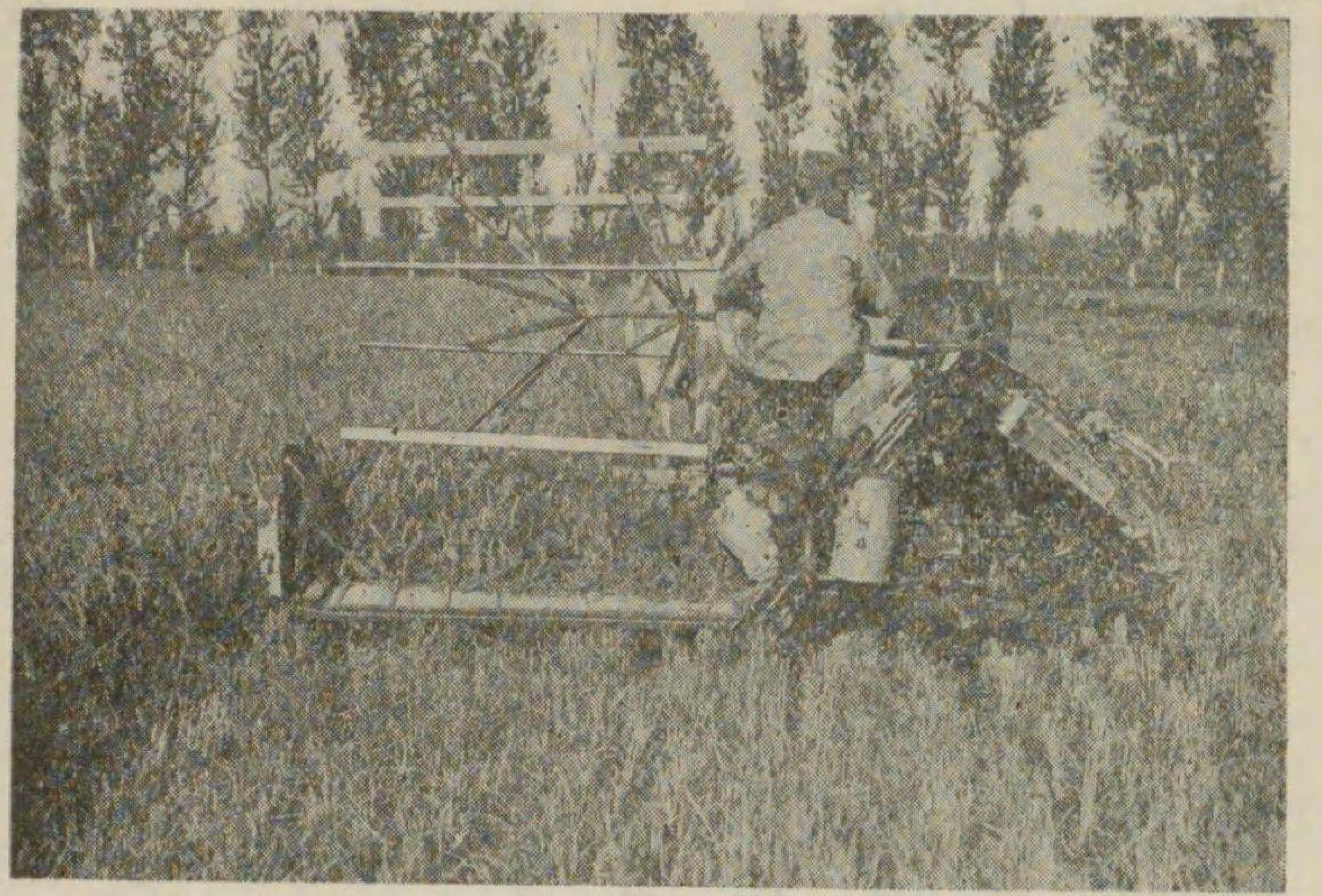
へにやつたから、直に來ますと云ふ。待つて居るのも退屈だから、場內を參觀する。伊太利語の說明だから何のことかよくは解らないが米作のことだから大體見當はつく、寫眞を見ると種子蒔きから刈取脫穀乾燥迄の經過がある。

その中に迎へにやつた技師が見へた。アンドリア、タルシエテイ敎授と云ひ、年配五十から六十の間、學者らしい溫厚な而して實に親切な人であつた。英語はほんの少しで獨逸語は達者である。だから英語とドイツ語のちやんぽんで說明してくれる。

トラクターは色々の種類があつて總て日本で此頃水田に使ふ樣な三馬力位の少さいものぢやない。八馬力から三十五馬力位で、價格も一萬二千リラから三萬リラ位――當時爲替相場の變動が戰後烈しいので日本價に換算が至難だが戰前四十錢位の一リラが十錢位に下落してゐた――以て米作の規模の大體を知るべしである。此附近三月の二十日頃から四月の中旬迄に種子蒔までの一切の仕事をする。種子はやはり一日乃至二日鹽水に浸すさうで、直蒔き(じかまき)が普通で植付は此頃段々やる樣になつたが勞力の關係で少い。勿論植付をした方が收穫も多く品質も善いから試驗場としては植付を奬勵して居ると。直蒔と云つても除草の關係があるから正條式に蒔く。除草は三回が普

通で人力用と器械のと除草器には二様ある。器械用になると一度に七柵位やるし大體器械使用の關係から田は長方形で柵は非常に長い。面白いことには水田が五メートル乃至十メートル位の廣さ毎に溝の様な區切りがある。水田を乾かす關係と除草なども此所に捨てると云ふ。稻作ではやはり除草が一番面倒で勞力を食ふと云つてゐた。刈取は器械で馬二頭引のが多い。稻は高さ一尺二三寸位の所から刈り取るから伊太利の水田を見ると藁株の丈が高い、之れは器械使用の結果で藁は肥料用として田に入れる。効能の説明としては肥料になるのと田に空氣を入れるために必要であると。乾燥には器械と天日との二方法があるが大體器械を使つて火力乾燥である。天日の方法で面白いのは攪拌するために畜力用の攪拌器があつて兩輪の間に日本の稻こきの様な金物がついてゐる。火力乾燥器は中等物が五萬リラ安いのが三萬リラ位で一日の能力は二萬五千キログラム百七十石ばかりに聞いたが或は僕の聞き違ひで十七石か解らない。脫穀籾摺器は動力機である。稻の刈取時期は九月から十月の間で、米價は出來秋は安いのは何所も同じ。平均十二月が賣時で値段も相當だとの話、收穫は一町步約千五百乃至千六百キログラムで植付にすると一割位多い。反當約二俵半、日本の半分位と思へば間違ひない。水田には魚を飼ふ所もあつて一町步で五百リラ

位の收入はある。



伊太利水田の刈取の狀況

原始的農業の標本たる我國の米作のそれと比較せられたい。

伊太利は勿論ヨーロッパでは一切輪作で日本の様に毎年米を作るのではない。一、二地方の輪作の狀況を示すと。

バルチエリー地方

初年　麥其他穀類
二年　牧草
三年　稻作
四年　同
五年　同
六年　同

ベネチア、パビア及マイランド地方

初年　モロコシ

二年　麥類
三年　牧草
四年　稻作
五年　同
六年　同

此地方では牧草を二年やる地方もある。

場内は實習地は離れた所にあるので、標本室や試驗室や農具室位のもの、教授の話に安藤博士や橋本博士が見えて安藤博士からは日本の種子籾を此通り送つてくれたが、播種の時期が日本より早いので少し遲れて着いたのは殘念、そのまゝに保管して居ると見せてくれた。日本の米も斯くして伊太利の試驗場に來て居ると思ふとやはり懷しかつた。

夕刻になつたが早い中にと云ふて自動車で實習地を簡單に視察し其足で農具の製作工場に赴いた。馬鹿に大きい工場でトラクターなど素張らしい大きいのがある。いろ〳〵わざ〳〵工場主の好意で實驗してくれたが言葉の不充分のと素人のためによく解らなかつた。然し七時頃まで親切

に案内してくれ然も又試驗場に歸つたら婦人事務員も他の技師も待つて居てくれ、共に自動車でステーションに送られたのには誠に感謝の外なかつた。

驛で惜しい訣れをして僕は其夜急行でフランスのリヨンに向つた。

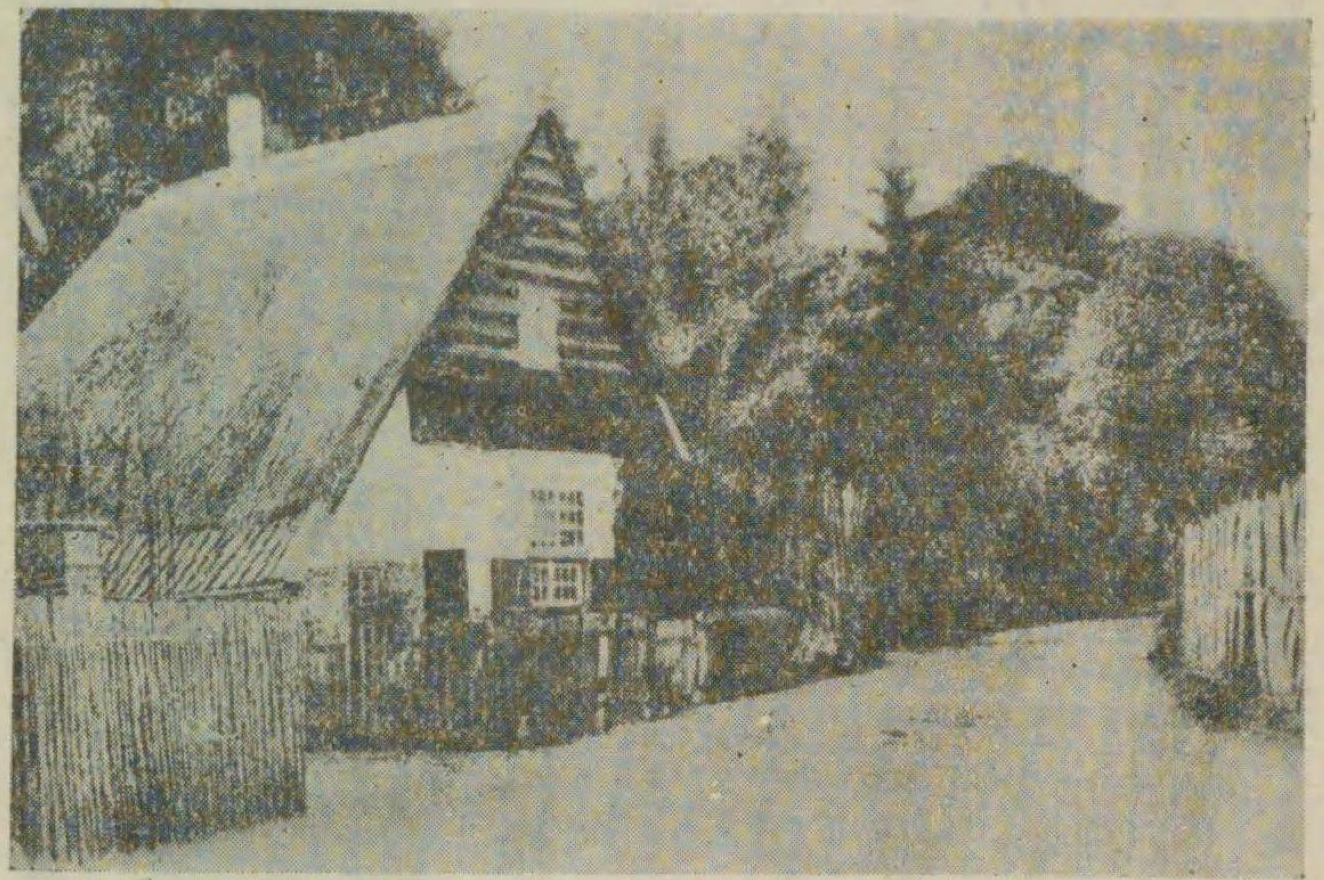
三六　佛國の分益農

步の善い小作農

分益農（シェアテナンシー）はヨーロッパでも主としてラテン系の諸國例へば伊太利スペイン、ポルトガル、フランス、ルーマニア等に盛に行はれて居り尚アメリカでもラテン系の移民の多い所に行はれて居る。カルフホルニアのロスアンゼルス附近には分益農が仲々多い。元來ヨーロッパの小作には普通小作（レントテナンシー）と此の分益農との大別して二つがあつて、此分益制度は日本でも將來小作爭議が盛んになるにつれて當然地主小作の共同作業として起るに違ひない。フランスに滯在中十日間許り此方面の事を農務省や農會其他に就て調査したから少々分益農の內容に就て述べて見よう。

分益農とは地主と小作との共同經營の形式の一で、普通小作人をマタイヤーと呼んで、地主が

耕地農舍農具を提供し、肥料種子等は小作人と地主と折半負擔で小作人は勞力と小農具を提供して農業經營の計劃乃至監督は全然地主の仕事である。而して收穫は原則として折半するから分益農の名が出來たのである。以上は分益農の普通の形式だが、地方により又時代により些少の相違はあるが詳しいことは後述しよう。畢竟分益農は大地主と資力のない小作人との間の共同行爲で、ヨーロッパでは耕地が廣く概して大農組織だから日本の如き小作農と違つて普通小作人は相當の資力を要し、貧乏人には小作人にもなれないで、勞働者となるより外はない。分益農は此點に於て小作人にも大地主にも兩方に得策である。



フランスの小農家

日本の普通の小作は自己の費用で獨立的に農業を經營し地主は唯土地だけを提供するに拘はらず小作料は收穫の田では五割乃至六割で、ヨーロッパ

では普通小作は小作料は收穫の大概二割五分以下で前述の如き地主の負擔の多い分益農ですら五割以下、以て日本の小作は如何に憐むべき境遇にあるかを知るに足りよう。尤も日本の小作料の高い理由として耕地の價格がヨーロッパの三倍乃至十倍も高價のことゝ、更に耕地面積が非常に少く一戸當り僅に一町歩と云ふ樣な小農國のために土地に對する國民の欲望が烈しくあり、又此の狹い土地に依つて生活をたてゝ行かねばならぬために勢ひ小作料を高く徵るに至つたのと今一つは土地に對する負擔が又無類に高く、封建時代地租卽租稅、租稅卽地租の觀念からあらゆる費用を土地に賦課した舊慣の惰勢によることも多い。兎に角小作料の高い理由は色々あるが何れにしても最も苦むのは小作人、日本でも小作料は少くとも四割以下に減ずる必要はある。四割說の根據に就ては經濟學から割り出した確乎たるものがあるが玆には餘說に亘るから述べない。

佛國に於ける分益農の狀況は左の如くである。

自作農(純粹の)	三八、〇九パーセント
普通小作農	一五、九五パーセント
分益農	五、一八パーセント

大農主として勞働者を使用する農業經營　四〇、七八パーセンと

で分益農は最も少く、人口缺乏のために所謂勞働者主としてスペイン、ベルギー、ポーランド地方の移民を使用する大農が盛んである。年々約百萬來ると云ふから豪いものである。

此れから分益農の內容に就て述べると

一、分益農の條件

1　家族の多いこと、分益農は小作人としては勞力の提供が主だから家族が多く勞力が相當にないと成功しない。

2　地主が熟練した農業上の知識と技能とを持つて居ると共に特に經營上の才能が肝要、分益農は地主の經營監督の下にやる農業だから、地主に叙上の能力が必須要件である。

3　耕地面積が相當に廣いこと、折半した小作人の收入だから相當面積が廣くなくては小作農の家族が養へない。

4　地主小作の相互が仲よく云はゞ一心同體となること、共同經營の農業だから、地小作の爭議をやる樣では到底成功出來ぬ。

5　地小作の權利義務の關係が明瞭に定めてあること、兩者の權利義務が明かでないと仕事が所謂つゝかけ合ひとなり能率が上らないし、分配上の爭ひが稍もすると出來易い。

反對に不適當の場合を云ふと地主が遠距離に居住したり、又地味が中等以上でないと分益農は困難で普通小作の方がよい。又都市附近の園藝や季節的勞働に偏する果樹特に葡萄栽培や林檎の樣な餘り長期の仕事乃至大規模の牧畜には不適當である。以上はヘンリー、クレメント敎授の說である。

二、分益農の分配條件

1　收穫の分配は原則として折半、然し所によると地主が三分の一或は四分の一の場合もあるが此れは肥料種子等を小作人が全部出した時である。

2　採種の場合は播種（ばんしゆ）に必要な部分を除き折半、

3　馬鈴薯を副業として栽培する時は小作人の家族を養ふ丈は小作人に與へて殘餘は平分、

4　所謂御勝手農圃（キッチンガアーデン）と云つて家庭用の僅少の家畜を飼つて取るチーズバターや野菜物は小作人に全部やる。

5　家畜の收入は平分、豚に就ては特約があつて小豚を二三小作人に餘計に與へるし又家畜農業でも奬勵上一割乃至二割小作人に多く與へることもある。

6　果實や僅かの養鷄や鳩などは小作人の收入唯七面鳥や鵞鳥は普通折半、

7　住宅や野菜や薪木を採るために家の周圍に土地を借りると此場合には小作人から物品でなく幾分地主に對し金で支拂ふことがある。然し家賃や地代と稱する程のことでなく普通の半額以下である。此の反對に耕地が悪いために臨時人夫を雇はねばならぬ樣な場合に普通地主から賃銀を支拂ふことになつて居る。

要するに主要の收穫物や家畜の收入は折半で其他のコマコマしたものは小作人の役得となる。

三、契約の期限と形式

普通一年契約で六ケ月前に解約の豫告をする。但し日本の小作の樣に十年以內位默約で繼續することもある。

公證契約が三割五分以下で私證が一番多く四割五分から五割五分、口頭契約が一割五分位ある

四、耕地の大さ　普通二十町歩から百町歩位、小さいと家族を養ふことが出來ないし、大きいと勞力を他から雇はねばならぬ。

五、耕作契約

地主に一般經營方針の作製と監督の權能がある。肥料は化學肥料は地主が買入れをして平分負擔、小作人の持つて居る自給肥料は金に換算して平分負擔、大農具は地主が供給して消耗品等の運轉費用は平分、野菜等の如き特別の勞力を要するものに就ては地主から割增金を出す。

土地の改良は勿論地主の負擔、此場合初年度の肥料種子は地主負擔、果樹は苗木は地主負擔、

普通農具は小作人の負擔、勞力は勿論小作人が提供する。

賣買の危險負擔は兩者平分、

地租は地主負擔、但し小作人が協議費其他コマコマした負擔を出すこともある。

保險は建物の火災保險は地主である。

農作物の收穫保險家畜保險は平分、

修繕費用は地主で契約の費用は平分、

六、小作開始期は普通十一月十一日セーントマーチン祭日か十一月一日とか四月二十三日とか六

月二十四日とか九月九日とか云ふ宗敎上の祭日のもある。

七、小作更改の規定
土地に就ては別段記す程のこともないが家畜に就ては價格は專門家の評價に一任する。小作人は家族の善良な主人として土地其他のものを管理する義務がある。

八、フランスに於ける分益農の傾向を述べると大戰前には分益農は大體に於て成功し漸次土地を購入して自作農になるが普通小作の地位に進んで來る。殊に成功の條件としては勤勉で節儉で且つ堪能の農家で妻君が注意深く賢い人間であればよい。唯勞賃が高くなつてきたから地主から今少しく經費を餘分に出して貰ひたいと云ふ聲である。

大戰後は普通小作人は例の爲替相場の劇變のため金納だから次第に物納の分益農に變りたがるし要するに分益農は益々有利の地位になつて來た。

大體フランスの分益農に就ての說明は此位にするが、伊太利スペイン等も大同小異である。分益農は地主小作の爭議の多い日本にも大地主には便利の方法で、新田などの多數の小作人を一團として分益農をするのは、其條件が公平であれば從來の小作人と異つて共存共榮の趣旨にもなり現在伊太利等で盛んに行はれつゝある共同耕作に至る階梯としても意義がある。現に愛知縣靜岡縣等でも分益農は次第に行はるゝ傾向がある。

唯伊太利に於ける共同耕作の成績や小作爭議の結果分益農も其特質の分配折半の基礎が漸次搖いで地主四分五厘小作五分五厘と云ふ風に小作側に有利になつてきたのは注目すべき現象である

三七　ヨーロッパの小作料と日本の小作料

日本の小作料は兎に角世界有數に高い、一寸ヨーロッパやアメリカの文明國には見られない。畑作は反當り普通二十五圓位、高いのは四十圓位まであるが此れは大都會に近い蔬菜園とか養蠶の馬鹿に盛んな地方の桑園などにある。然し一番手近で全國的なのは水田であるが平均收穫の五十五パーセント位。

ヨーロッパには小作に大別して普通小作に分益小作とある。普通小作は日本流なので小作農の獨立經營で別に地主の經營監督を仰ぐのではない。分益小作は前述した樣に地主の經營監督を受

け小作人は單に小農具と勞力を提供する丈である。此の分益農でも收穫は地主と折半で、然も地主は經營監督の責任があるばかりでなく、農舍農具を提供し肥料家畜及家畜の飼料等も地主小作折半負擔である。日本の小作と比べて遙に小作農の負擔は輕いのである。然も小作料は收穫の五十パーセントだから、日本の水田の小作料より遙に割がよいのである。

ヨーロッパの普通小作の小作料は普通收穫の二十から二十五パーセントであるから日本と比較にはならない。丁抹や獨逸で日本の小作料の話をしたら一樣に眼をむいて驚いてゐた。ゼーリング教授の如きはどうしてそんな小作料を拂つて小作農が生活して行けるかと質問した位、一寸彼等には諒解出來ない高さである。

然し日本の小作料の高いのにも理由がないでもない。其の一は土地の價格が世界一高いことで前に各國の農家訪問の所で詳しく述べた通り、英國の七倍獨逸の三倍半、伊太利の四倍、丁抹和蘭の三倍位で、先づキャルフホルニアの野菜地が日本と同じ位のものである。此れは耕地面積が總面積の僅に一割五分七厘と云ふ山と川ばかりの國の所へ人口が非常に多い。一町步の耕地の上に生活する人間の數は世界一の人口國たるオランダ、ベルギーを遙に凌いで居るがためである。

其二は昔から農業の外大した工業もなく、つまり他に立派な天然資源がないから、土地を大切にして農業をするより外に仕事がないからである。其の三は土地の負擔が昔から馬鹿に重いためで此の土地の負擔から云つても英國の九倍、獨逸の六割高、伊太利の三倍、丁抹の二倍半位で矢張り世界一である。此れも昔から租稅と云へば地租が中心であつた情勢のためである。

先づ理由は色々あるが兎に角現在の樣に高い小作料では小作は到底やつと食ふだけで此れもまづいものを食べ、汚ない生活をして居るからで、子供の教育や生活の向上など思ひもよらない。

地主も亦確に困まるが此れは程度が違ふので五町步や十町步持つて居る地主が懷手で生活しようとするのが大間違、第一一町なり二町なり自作して殘りを小作に貸したら之れだけ樂なのである。百町あつても五百町步あつても同樣自家の生活するだけは自作して其餘を小作に出せば生活も樂だし、小作農にも同情も出來、農業本位の考へが出てくるのである。

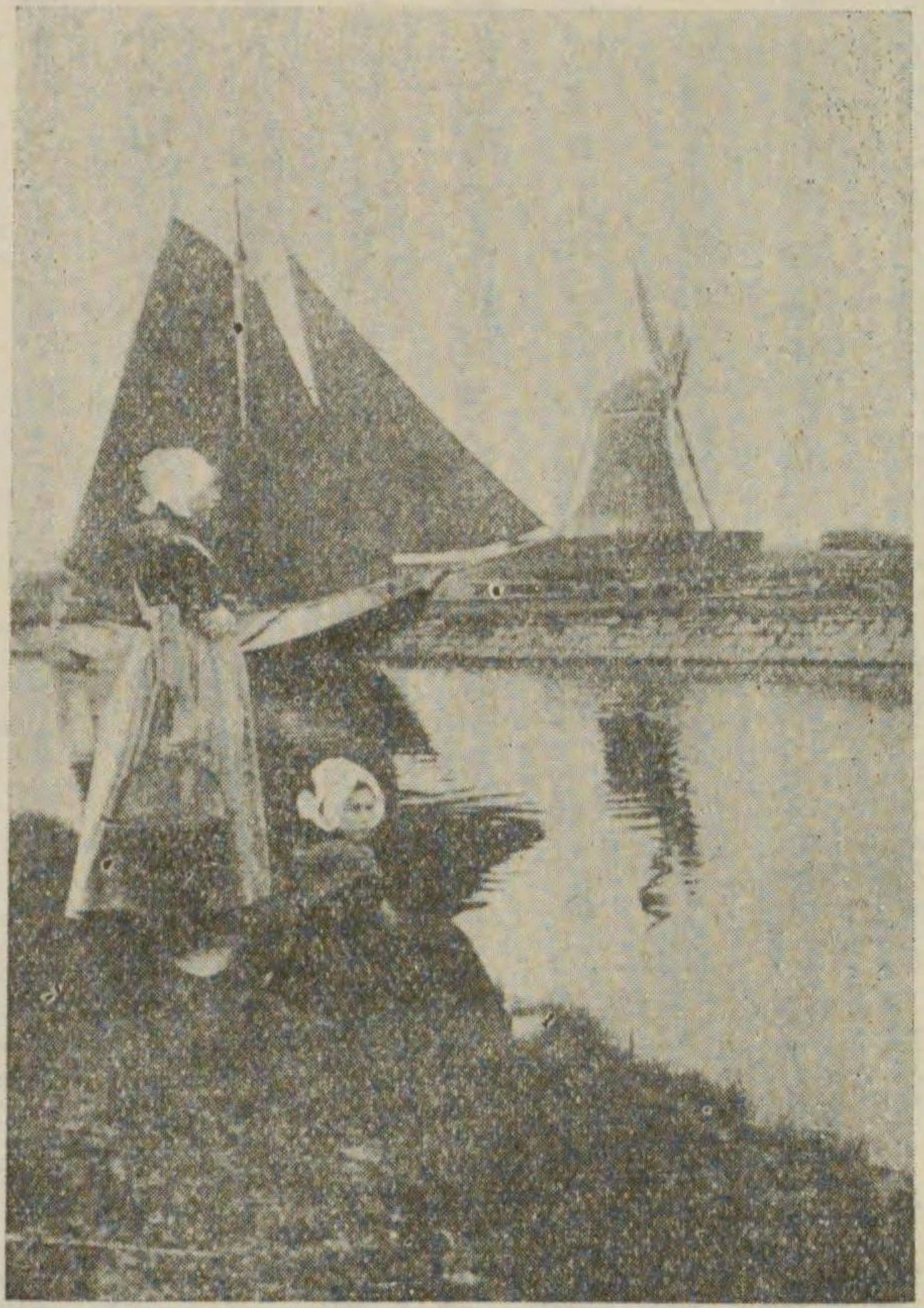
日本の小作料も公平の所が地主四分小作六分が至當で水田にすれば肥料勞力として三俵を小作に、租稅として一俵を地主にわける。此れは生産費だから、生産費は經濟學上の原則として先取特權がある。卽肥料は反當り普通十四五圓、勞力は二十人乃至二十五人だから兩方で三俵とする。

此れで尙ほ餘りがあれば配當をする、日本の水田は平均二石五俵だから殘り一俵を地主にやつて小作三俵地主二俵とする、卽六分四分の振り合ひである。此の分配法に對して小作側からは農業經營者としての企業所得がないと云ふかも知れないが、元來根本論として從來からの小作料の關係もあり、急轉直下の變更は無理だから、實行し易い案を作つたゝめに些少理論に合はぬ點のあるのは止むを得ないし、小作農には裏作や藁其他の收入もあり、又勞力が二十人乃至二十五人としても家族の勞力の利用も出來、所謂自由勞働だから米三俵の前述の分け前と裏作の利益との中に企業所得も含ませるとする。地主側の反對は米二俵では負擔を除けば一俵餘りになるからやり切れぬと云ふが元來自作せぬのが間違で正當の利益を得たければ自作すればよし、尙ほ土地は漸次騰貴するから其中に利益は含まれて居る。先づ地主四分小作六分と云ふのが公平の小作料であり合理的である。

三八　和蘭の王立農會訪問記

日米戰爭とオランダ

歐洲大戰の天王山で有名なヴェルダン要塞を見物してメッツに泊まり、有名なライン河の風景を眺めながら汽車でケルンで一泊、隨分面倒な思をし乍ら幾度か汽車を乘り換へてオランダ國境のニムヴェーゲンで二時間も休憩を餘儀なくされて、ヘーグに着いたのが午後の三時四十四分、單獨旅(ひとりたび)で全く閉口した。



和蘭の農村の光景

詩や歌に名高い風車と運河は和蘭の農村の特色

ライン地方を通つた日は幸に快晴で、名にし負ふライン河の風景はあちらこちらに廢虚の城跡があり、山水の眺めは實によかつた、沿岸には葡萄畑が多く山の上までよく耕されて居つた。メッツ附近は畑も割合に小さいがボン邊に來ると畑も大きくなり渺茫(べうぼう)たる沃野が見へた。此邊で珍らし

かつたのは酷寒のために水蒸氣が凍るのだらう、樹木の枝々を眞白に枯木に花と云ふ具合に飾つて居ることで寒氣の如何に烈しいかが想像出來る。云はば雪が樹の枝に凍りついた樣のものノルエーやスエーデンの冬の景色の寫眞にはよく見たがライン附近で始めて實見して驚いた。

オランダに入ると牧草が如何にも心地よく青々としてゐる。牧畜も盛んで例のホルスタインが悠々と遊んで居る。殊に珍らしいのは風車があちこちに見えて水の國オランダだけに水路が縱横に開けてゐる。農圃を歩いて居る大人や小供の服裝も一種異樣でくつろいだゆるやかな服裝や、婦人の髮の上に姉さん被りではないが何かしら布をつけてゐるのも珍らしい。兎に角水郷のオランダはヨーロッパの他の國々を見た眼にはいろ／＼變はつた場面を見せてくれるのは有難い。

一月十六日の午後議會や美術館を見物した後、オランダの王立農會を訪問した。電話で豫め打合せをしておいたから、幹事の君と技師との二人が直に應接間に迎へられて質問に應じてくれる

オランダの農業の特徴は家畜農業と園藝の發達で、世界一と稱してゐる。耕地百エーカー（約四十一町歩）當りが一九二二年に

牛三十七頭六、羊十二頭二、豚二十七頭七

の多數に達して流石の丁抹よりも多いさうである。農業政策は丁抹と同樣十九世紀の中頃例の新大陸の農業の壓迫を蒙つてから、家畜農業本位とし、穀作農業を從とし、獨逸フランス等の保護貿易と異つて斷然自由貿易を採用した。卽安い穀物をアメリカ其他の新大陸から輸入して食用とし、高い家畜の加工品を外國に輸出するためには自由貿易が利益だからである。此の點がオランダや丁抹の政治家と同時に農民が豪かつた點で新大陸の農業の壓迫を受けて悲觀しながらも、絕望しないで乾坤一擲の新農業政策を採用し、所謂禍を轉じて福となしたのである。凡そ農業に限らず何事でも天災とか其他非常の壓迫を受けて、其仕事をやめるか、やめないかの瀨戸際に迫まつて所謂死活の苦みを甞めて――始めて物の改革は出來る。十九世紀中葉以後今日に至るまでのオランダ丁抹等の農業の發達は其好例である。

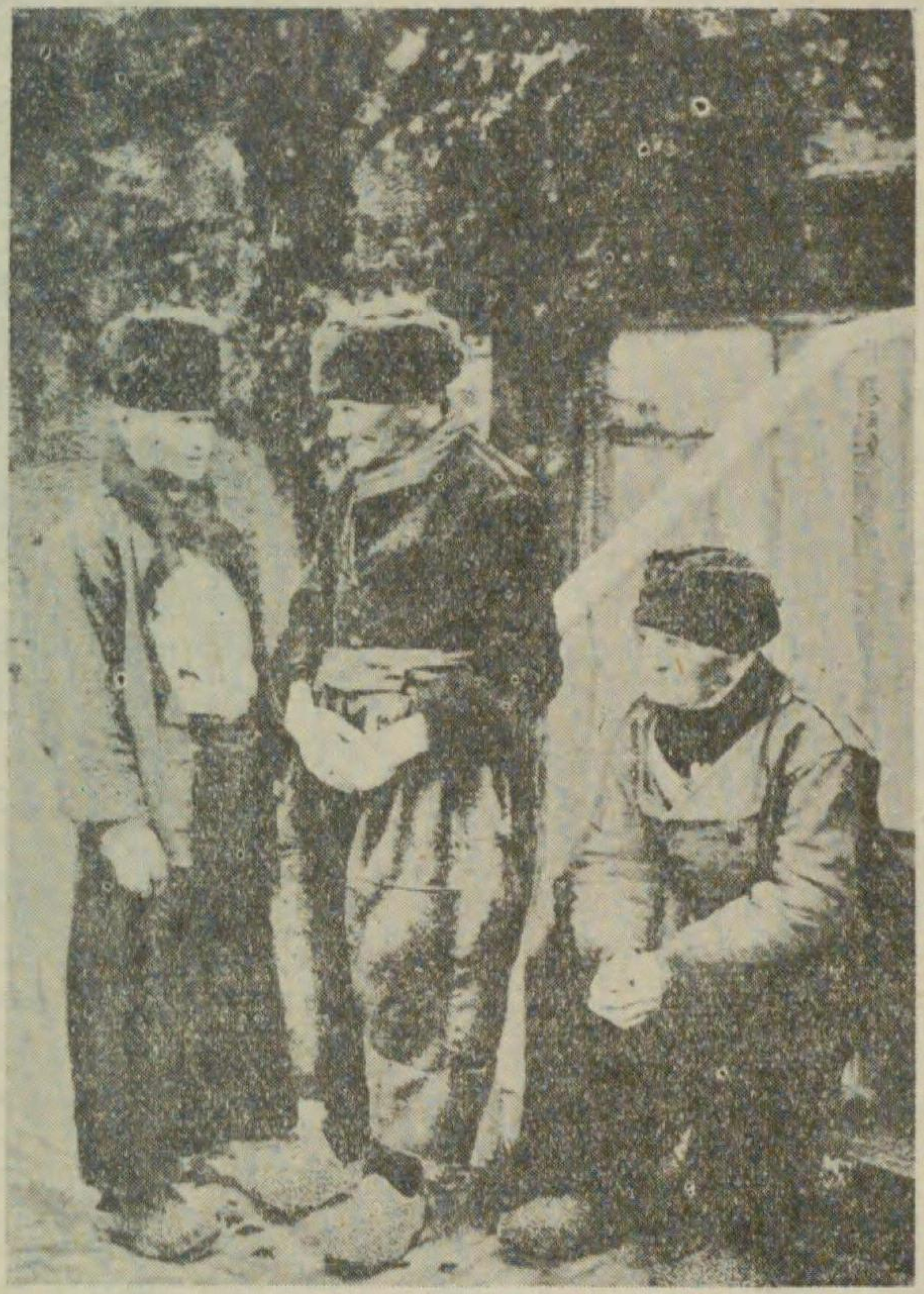
斯樣な次第であるから麥作は大變減少した。其代はり牧畜や園藝農業は益々發達して就中砂糖大根や馬鈴薯は耕作面積を增加した。

オランダはベルギーと同じく花卉其他の園藝が盛んでイギリス其他に澤山輸出してゐる。要するにオランダの農業の特色はヨーロッパの中でも最も集約的農業であり、工業的農業である。家

畜農業や砂糖大根等の盛んなのは此のためである。試に耕地百エーカーの上に生活して居るヨーロツパの主要國と日本との人口を調べて見ると

ベルギー	一〇戶
オランダ	九
フランス	七
ドイツ	六、五
丁抹	五、五
イギリス	四、四
日本	七二、〇

である。ヨーロツパではやはりベルギー、オランダが第一の集約農業國であるが然し農家一戶當り四町歩以上で日本の一戶當り一町歩とは雲泥の差である。日本の七十二戶は將に世界レコード破りである。耕地の代價は一町歩約千六百五十圓位で小作料は



和蘭の農民

九十圓位の由である。ヨーロツパではやはりオランダ丁抹が一番土地の値段が高い。然し日本と比ぶれば雲泥の差程安い。兎に角日本は世界一耕地や小作料の高い國である。

一般の話はこんなもので、僕がチエツクやハンガリーの土地交換法の話をしたら、オランダにも同法があつて、大變立派な成績を擧げて居ると云はれた。つまり相續其他の分讓の結果耕地が細長くなつたり小さくなつたり散在して居るために此土地交換法によつて耕地の合併を圖る。人口の稠密の國程自然耕地が分散することが解る。

話は次にそれて日米開戰論になつた。ヨーロツパの各國を歩いて何所でもよく日米開戰はあるかないか、或はひどいのになると何時やるかと聞かれたものだが其大部分は勿論日本びゐきの話であつたが、オランダの王立農會では恰度正反對、米國びゐきの議論で結局日本移民の米國侵入は穩かでないと云ふ譯、あまり可笑しいから段々聞いて見ると眞想はかうだ。元來オランダは東洋にボルネオやジヤワ、スマトラと云ふ可なり大きい殖民地を持つて居り、然もヒリツピンの南にある所から、日本の侵略を蒙りはしないか、又日米戰爭の際スマトラには石油の澤山出る地方があるから石油のないので困つて居る日本に占領されはしないだらうか。或は又該地方の日本の

占領を豫想してアメリカから注意を受けたゝめに、オランダは必要もないのにアメリカに對する手前共地方に要塞を築かねばならぬとか何とか云ふ噂のあるためにひどく恐日病に罹つてゐる。

和蘭の農村婦人

そのため日米戰爭は何より恐ろしく、日米戰爭の原因たるカルフホルニアの移民問題を氣に惱んで、此の點からはボルネオ、スマトラ等の自國の植民地への日本移民を恐るゝ所から、所謂同病相憐むの譬から日本に好意を表しないのである。王立農會の幹事も極めて親切なものゝ解かつた紳士であつたが恐日症にはひどく惱まされてゐた。

僕のオランダの恐日症は全くの誤解であり、日本は何等オランダの殖民地に野心なく、其例と

して大谷光瑞さんの蘭領殖民地のゴム栽培にせよ到底平地では暑熱が烈しいために日本人としてはヂヤワやスマトラでは二千尺の高地でなければ生活出來ないし、此等の惡宣傳は爲めにする某々國の中傷にすぎないことを話したら、幹事も大變に喜んでオランダと日本とは數百年前からの最も親しい國であるなど愛嬌を振りまいて餘程安心したらしかつた。

農村巡りと話は違ふが事實日米戰爭の惡宣傳は當の日本やアメリカが火元でなく、全くヨーロツパであるのは眉唾もの、要するに歐洲大戰でヨーロツパの强國が非常に疲弊し、然も日米兩國は火事泥的に成金になつたと思はれて居るから、世界の勢力平均の上に日米兩國を衝突させて、どちらが勝つてもよいから、共に弱はらせたいと云ふのが僞らざる彼等の希望である。故に日米戰爭の宣傳などに乘るのは誠に馬鹿の骨頂である。

三九　キヤルフホルニアの日本村

1　自動車を持つ農家

紐育やワシントンなどの東部沿岸の見物は二週間で打切つてキヤルホルニアに急いだのが大正

十四年の二月初め、納三週間程日本人農家の訪問に費した。

二月と云へば内地では手もちぎれる程の寒さだが之れは又當時のロスアンゼルスの公園では藤の花が眞盛りと云ふ初夏の氣候、二月の農村巡りも日本のデコボコ道の農村と違つてコンクリートの十八間道路に自動車をドライブするあたりは南風そよ〳〵と面を掠めて心も輕く身も輕くしてと云ふ具合。ヨーロツパやアメリカを旅行して氣持の善い第一は道路が田舍でも全部コンクリート自動車は大概二十五哩から三十哩の速力、長い間の旅に自動車がパンクしたなどは丁抹で一度あつただけ、殊にアメリカと來るとヨーロツパ以上に道路も廣く、一哩に一ケ所位自動車の給油場があつてガソリンの給油から自動車の掃除、タイヤの取換等、時には楚々たる美人も現はれてやつてくれる有樣、いやはや誠に雜作もない。それもその筈ロスアンゼルス市だけに自動車が驚く勿れ四十三萬臺餘、人口三人に一臺宛と云ふ比例、アメリカ全體に割當てゝも人口七人に一臺あると云ふから豪勢のもの、實の所アメリカでは自動車は日本の自轉車以上、農民でも一臺や二臺は大概持つて居り、主人は勿論妻君や娘さんが運轉すると云ふ普及振り、大學生の通學は勿論御自身運轉の自動車、小學校の子供でもアメリカの農村は一戶當平均六十町步と云ふ廣さだから通學區域も遠いせいか、學校に子供の五十人位乘せられる大きな自動車が何臺か備へてあつて、兒童を集めて步く程。大工や左官でも自動車で仕事に出掛けると聞いたら、塵埃や泥濘を浴びて怨めし相に自動車の後を見送る日本人はさぞかし腰をぬかすに違ひない。それと云ふのも結局は道路がよいのとガソリンが安いため、フホードあたりの自動車なら新しいので四五百弗も出せば結構、然もアメリカでは自動車は勿論家屋でも洋服でも一切が月賦販賣で、其方法が日本と違つて月賦でも一時金でも同じであるから普及する譯、一ケ月に五十圓位宛も無盡のつもりで拂つて居れば自動車などは容易に買へる。その五十圓の金がアメリカでは四日か五日働けば裕に取れるから何でもない。ガソリンはよく使つて一日平均七十五セント約一圓六七十錢位世界一ガソリンの安い國である。

自動車に乘ることは贅澤と思ふなどは貧乏國の話、イギリスやドイツやフランスやデンマークでも實見したが中農以上は馬車の外に大概自動車があつて色々に利用して居る有樣、能率本位經濟本位から云ふならば、丁抹でフインガー氏の話ではないが自動車が一番利益で雜作がない。それに女や子供でも十七八以上になれば平氣で運轉して居る位だから、道路さへよければ之れに越

したものはない。自動車の速いのは世界でフランスとアメリカ、巴里などの速力と云つたら一時間裕に三十哩、それで賃銀の馬鹿に安いこと、一時間走らせて二圓もあれば澤山、カルフホルニアでは友人の自動車に乗つて往復一日に二百二十哩を走らせて先方でゆつくりオレンヂ共進會が見物出來たと云ふ嘘の様な事實、電車や自轉車や乃至は人力かテクで活動する日本と違つて其能率や將に數倍！

日本の農民も一日も早く自動車に乗つて活動する様にならにや、永久に浮ぶ瀬の來る時がなからうさ。それには現在の様な高天ケ原農業の原始的農業ではいかぬ。其組織を根本的に改造して僕の主唱する如くにヨーロッパ流の工業的農業をモットーとし、大々的に少くとも伊太利の如く部落單位か町村單位の共同經營の農業とならにや駄目。

自動車と農民！

高天ケ原農業と工業的農業！

此の二句だけは農民諸君に充分味つて頂きたい。

2　キャンプ—移動農家—を見る

ロスアンゼルスに着いて二三日たつた或る日、中學時代以來の親友金谷君や中島齋藤等の諸君の案内で有名な石油産地であり、海水浴場であるロングビーチの見物に出掛ける。

二月とは云へセルの單衣で散歩したい様な初夏の氣候、中島君の運轉で自動車は同君所有の逸物ではあり、初夏の風を切つて輕いこと！よく耕された廣々として涯りのない蔬菜園の間を縫ふてやがて目ざすロングビーチの海水浴場に着く。綺麗で素張らしい大きな仕組だ。ヨーロッパでも流行は競馬場と海水浴場から來ると云ふ位、實にケバ〳〵しい色と臭の巷であるが、流石は世界のアメリカだ。おまけに世界一成金の多いと云はれるキャルフホルニアはロスアンゼルスの遊園地、氣の大きい、金の使ひ道に困まるアメリカの金持は四日五晩の急行列車に乗つてニューヨークやシカゴあたりから、ロスアンゼルス市のハリウッド邊に別荘を持つと云ふ豪勢振りだから、其結構や推して知るべしである。

煙突ならぬ櫓の林立して居る石油採掘の大規模の事などは農村巡りの範圍外だが唯一つ日本の

海軍の命と賴む石油は今日此頃敵とか味方とか噂の馬鹿に高い此のアメリカのロスアンゼルスから三井の手で一手に供給されると云ふことだけを御知らせしておく。

幻滅の後には悲哀がある。心ゆくばかり廣々とした金のなるてふカルフホルニアの沃野を縱橫に疾驅して居るとニューヨークやロスアンゼルスで二十階や三十階建の家を見慣れた眼に誠不思議や畑のあちこちに日本の農村にも見られない木造の小舍が點々して居るから同行の諸君に質ねると笑つて、

「あれが君、有名なキャンプだよ。君キャンプを知らないでキャルフホルニアの日本人の農業は到底解らんさ」

と意味ありげな話し振り、段々聞いて見るとあれが日本人の農家のモデルであり、アメリカ人から排斥の一番よい口實となり、更に又日本から來る視察者の移民攻擊の土産話の善い材料。

內地に居る時分僕の不思議に思つたのは日本に居る時は相當强硬のアメリカ攻擊論者が、キャルフホルニアを視察するとあべこべに大概其鋒先が鈍るのみか却つてどうもあれでは仕方ないと弱音を吐く者の多いのに驚いたが、今日一日の旅行で其理由もはつきり讀めた。成程視察者が豹變するのも無理はない。色々の想像や期待を持つて來た內地からの視察者にとつては百年の戀も一日に冷めるとは或は此の事であるかも知れない。

僕も自動車から降りて二三此の邦人キャンプを拜見した。例のアメリカ松か何かで壁もなしの板圍ひ、全く震災直後東京に出來たバラツクも同樣、高さもせい〲一丈二三尺の一階家、氣候が前述の通り暖かいからよいけれどヨーロツパや大西洋沿岸のアメリカなら凍死してしまふ樣な御粗末の家、內部の裝飾などは勿論調度なども唯飮食（のみくひ）と寢るのに困まらねばよいと云ふ最低限度湯殿も日本の田舍流、便所ときたら、此方面に就て最も衞生的なアメリカ人が驚くのも無理はない。一言にして云ふと僕と雖も淚を催さゞるを得なかつた。海外萬里の異鄉に我が同胞の此の悲慘の有樣は！

其夜僕は友達の招待を受けて花やかなロスアンゼルスの日本料亭に久し振りに懷かしい日本料理の御馳走を咽喉に、滲み込む樣な正宗を味ひながら何かと心づくしの饗應に遇つたが、程經てホテルに歸つた自分は獨り椅子にもたれつゝ暗い思に沈まざるを得なかつた。何たる同胞の悲慘な然も耻しい狀態だらう。ヨーロツパやアメリカの農家や農民の生活狀態を見た自分には何とも

云へぬ半ば憤りの感じさへ起さゞるを得なかつた。アメリカ人の排斥するも當然である！　あゝ自分の想像や期待は全く裏切られてしまつたのみならず、自分の從來の考は間違つて居るのではあるまいか。

×　　×　　×　　×　　×

越えて四五日自分がサンタナ村の仁田正助氏を訪ねて夜二時迄も話した晩だつた。今迄の暗い氣持はカラリと晴れて何とも云へぬすが〳〵しさに蘇み返へつた。それ迄僕も毎日精魂よく邦人のキャンプや各方面の識者を訪れて色々農業の實況や意見を見聞して居つたが信念の士でありアメリカの骨と化する覺悟を以て心安らかに働いて居る仁田氏の話を聞いてからは先日來の不愉快な疑念も晴れて萬事が解決した様な氣になつた。

徑路は長く曲折は多いが結論はかうだ。邦人のキャンプ生活も決して望ましいことではないが誠に止むを得ざる運命である。キャルフホルニアに於ける邦人のキャンプ生活が悪いと云ふのは皮相の話、若し責むるなら又責むべきなら宜しくアメリカを責むべしで、之等悲惨なるキャンプ生活の主因は全くアメリカの非人道なる土地法にある。現在キャルフホルニアでは日本人に土地所有權もなければ借地權もない。其上アメリカ人との分益農も許されない。嚴密に云ふとキャルフホルニアでは日本人には賃銀勞働者として働く外獨立的の農業は出來ぬ譯、一時間一圓の勞賃を出せるキャルフホルニアの農業なればこそ又故國を去つて背水の陣を敷いて居る日本人なればこそ何とかキャンプ生活でもして農業を營んで居ると云ふもの、まあよくやつて居ると却つて涙が出るばかり、其罪は全くアメリカ人にある。

市民權のない者には土地の所有權も賃借權もないし、日本人にはアメリカで生れた者の外一切歸化權はない。然もアメリカ生れの女が歸化權のない日本人に嫁すると市民權が消滅する様な非人道的な法律さへある。從つて現在の所アメリカ生れの日本人の名に依つて所有權や賃借權を得るか、若し之等の資格者が未成年者なら後見人を要するが、市民權のない者には後見人の資格がないので親があり乍ら泣く〳〵縁もないアメリカ人の名を借りねばならぬ有様、だから現在完全な資格を以て農業をして居る人々の外多くの日本人は何時アメリカ人から難題を吹きかけられて折角汗水で仕上げた農業經營全部を掠奪されるか解らない。然も弱味につけ込んで折角十年苦心の農業を奪られた例はいくらもあるし、色々の難題は年と共に殖へる。斯様な悲惨な有様だから

何時災難が來るかわからない、故にキャンプ的の農業をするのは當然すぎる位當然の話。何も日本人が好きで或は怠けてやるのではなく、止むを得ざるに出た血と涙の仕事である。僕の訪ねた農家の中にも多年苦勞して色々の設備も出來資金もかけて漸く利益が上りさうになつた頃例の土地法を楯に移轉を餘儀なくされた例は澤山ある。全く二束三文で多年苦心の結晶を掠奪されてしまふ。日本人に永住の考がないとか、彼土地の風俗習慣に同化しないとか、色々の非難もあり又此の現象（ことがら）は事實でもあるが現在の樣に土地所有權も賃借權もなく歸化權も得られない所に、色々の迫害を受けては永住したくも出來ないのが當然、一日も早く金を貯めて歸國したいのは免るべからざる人情、從つて風俗習慣になづまないのも無理はない。永住の決心や同化の必要は論者の云ふ通りであるが水を高い所に流す樣な法律や制度の下にはどんな善い理論も行はれないから先づ此の點を改めるのが先決問題である。だから僕は日米國交の永遠の利益のため、日本も將來アメリカの嫌がる移民は絕對に送らぬ代はりアメリカも既に現在適法に移住した日本人に對しては土地法を撤廢してアメリカ人同樣の權利を與へる樣にして貰ひたいと思ふ。其詳しい理由に至つては拙著歐米議會見聞記中に論じて置いた。

由來物事の批評は其根抵に透徹しなくてはいかぬ。皮相の觀察は百弊の基である。

3　一時間一圓の農業賃銀

ヨーロツパで一番農業賃銀の高いのはイギリス、次いで丁抹和蘭獨逸等である。あらゆる賃銀の高いイギリスは別として其他の國の樣子を見ると農業の繁榮して居る國程賃銀は高い。逆に勞銀の高い國は農業及農村が發達して居ると云つてよい。

が然しヨーロツパの農業勞働賃銀もキヤルフホルニアに來るとてんで桁違（けた）ひ、イギリスが一日三四圓取れると威張つた所で、キヤルフホルニアは日給でなくて既に時間給と云ふ所が度膽（きも）を拔く僕が邦人の農家を訪ねたら到る所に日本人の勞働者も居るし又支那人やメキシコ人が居る。此等三國人の中ではやはり日本人が最高給で殊に野菜作りとなると手先が器用だから日本人が一番高い。普通の賃銀が一時間日本人が四十セント、支那人が三十七八セント、メキシコ人が三十五セント、昨年當時の四十弗の相場にすれば一時間將に一圓に當る。何と豪氣な賃銀ではないか一時間一圓出せる所にキヤルフホルニア農業の偉大さが解かる。一日汗水垂らして一圓五十錢かせ

い〴〵二圓位しかとれぬ日本の農業とは一寸談の桁が違ふ。氣候は年中春から夏の様な暖かい所だから一日十時間から十二時間働くのは左程困難でない故、一日に十圓乃至十二圓はとれる。忙しい時には割増賃銀もあれば時間外の勞働になると二倍の賃銀、此れもその筈僕がシカゴに滯在した居た時、市の掃除人夫がストライキをして大騷ぎだつたから給金を聞いたら日給十五圓を十七圓五十錢に値上げしたいと云ふにあつた。市のよぼ〳〵の掃除人夫が日給十五圓！もう此れ以上の說明は却つてくど〳〵しくならうから止める。

賃銀の序に日本人の國民性を知るに面白い談がある。僕がスタツクトンの例の牛島翁の有名な馬鈴薯畑を視察した日だ。案內者の井上君の談にカルフホルニアの勞働者の中で一番よいのが支那人、日本人はどうしても支那人に叶はないと云ふから段々其談を聞いて見るとかうだ。

例へば馬鈴薯の出盛りの時相場の具合で澤山荷造りしたいと思つて今日は千俵作つてくれと云ふと日本人の勞働者は此れは豪い元氣で割增賃銀もあることだから、一日に千二百俵もつくる位然し此の勢で三日もやると四日目からは病氣と云つて休む者が續出するために大間誤つきをやらねばならぬ。所が支那人は如何に賴んでも平素八百俵の能率なら、せい〴〵九百俵位のものでどう云つても夫れ以上の能率は上らない。其の代はり三日やつても四日やつても休む様なことはなく云はゞ終始一貫の仕事振り、又日本人は兎角陰日向が多く、主人や監督者の見てゐる所では仲々一生懸命にやる振を見せるが、居なくなると直にサボリ出す、其サボリ方が自分だけならまだよいが兎角、相手まで煽動するから困る。今一つは此の點は日本人の長所だらうが少し金が溜まると日本人は直に獨立したがるから、使用者としては熟練した時分には新米を使はねばならぬ故不利益である。支那人は正反對で別に意氣込むと云ふ風はない代はりに終始同じ様に働いて陰日向が少いのと、いくら金が出來ても勞働者で甘んじて居る者が多いし、獨立するにしても日本人程氣早くない。あれやこれやの點で使用人から見た勞働者としては支那人が一番善く、メキシコ人やアメリカ大陸に多い黒人は日本人と支那人の兩方の缺點ばかり持つて居るから一番困ると。

まだ一つ僕が船長に聞いた談でも同様日本人は難船とか火事とか云ふ時には一番勇敢でよく働くから持つて來いだが、平素の仕事になると支那人が一番勤勉で使ひよいと。

此等の談を綜合すると、要するに日本人は勅語に仰せらるゝ通り一旦緩急の國民で、乗るかそるかの時にはよいが長い目で働く平素の仕事には大に不向、先づ戰爭には持つて來いの人種と相

場が定まつた譯、但し日清戰爭や日露戰爭の樣な一年か一年半の戰爭ならばよいがヨーロッパ戰爭の樣に三年も五年もかゝる大戰爭となつたならば所詮一旦緩急の國民では心細くはなからうか

4　世界一の蔬菜栽培

アヂアからヨーロッパ、アメリカと隨分國々を歩いて見たが、キヤルフホルニア就中ロスアンゼルス附近は確に世界の沃野であり天惠の最も多い所である。氣候は二月の中旬ですら藤の花の眞盛りと云ふ具合霜なども極めて薄いのが稀に降りる位、と云つて夏の暑さが堪へられぬと云ふのではなし、土地は廣く人口は少く、おまけに新開地だから彼の若木が隆々と伸びる樣等せゝこましい、アチラを向いてもコチラを見ても劍突ばかり食ふ日本と違つて思ふ存分活動が出來るのび〳〵した世界、石油は無盡藏で金鑛は多い。農產物は固より海產物も豐富、確に世界の樂園。日本人が何のかんのと排斥されても容易に尻を上げない譯。

自働車に乘つて友人の金谷君と日本人農家の訪問に出掛ける。二月下旬とは云へ霞がかかつたのどかな好天氣、頰に當る風が誠に心地よい位、一時間も走らせたと思ふ頃道路に沿ふて日本人が何人か畑に働いて居る。一面茫々として見渡す限りの平地だ。たゞそこゝに例の日本人のキヤンプが見へるばかり！

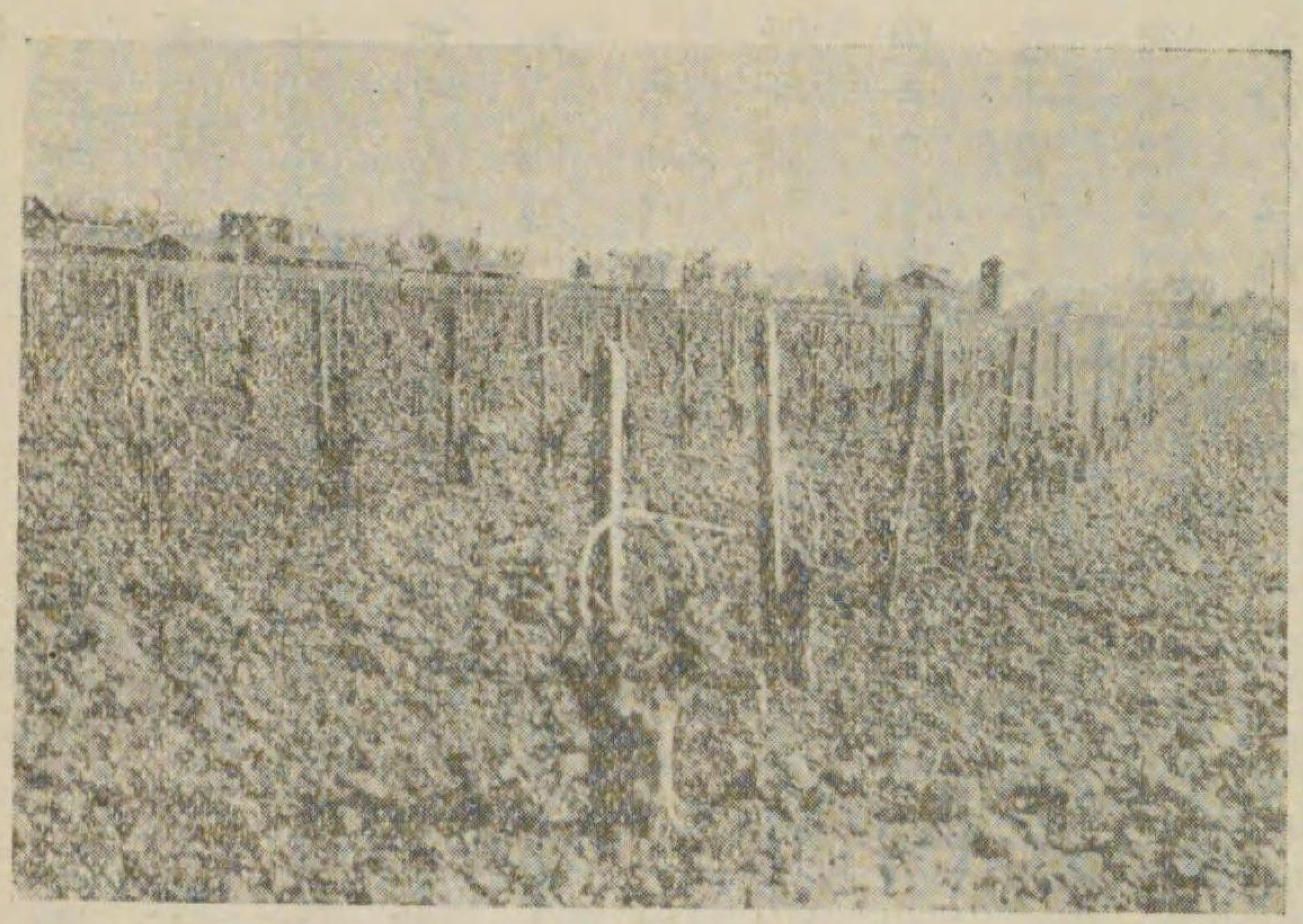
最初に訪ねた家は熊本縣人の東田國藏君と云つて此の方面の先達らしい、耕作面積はイチゴが三町八反で其他の普通野菜が六町餘り、年齡四十位の男盛り子供二人の生活である。同君の話によるとイチゴの栽培は季節物で收入は非常に多いが手がかゝるのでイチゴ專門ならば四町歩位が止めで一年に二萬五千圓から三萬圓の收入はある。善い年には三萬七八千圓とれるから大したもの、費用は何の位かゝるかと云ふと、

小作料　千三百圓——千五百圓
水代　千八百圓——二千圓
肥料　六百五十圓——七百圓
勞賃　三千五百圓——三千七百圓
計　七千二百五十圓——七千九百圓
固定資本は一萬三、四千圓

馬が一頭に自動車がフホードの一噸貨車一臺二千圓以下で買へる。一日のガソリンは非常に安く一圓六七十錢もあればよい。水代と云ふのはキャルフホルニアに特別のもので此地方は雨が非常に少く一年に十回以下と云ふ有樣だから大變乾燥して氣候は暑いし畑は恰度砂漠の樣だから、灌漑水が是非共必要である。此れがために此灌漑水設備の發達はキャルフホルニア農業の特色で水道が耕地の間を縦横に走つて居る。此の水は河川から取るのもあるし又掘抜井戸によるのもある。從つて風車や動力機による井戸の設備は大したものである。此の水道に依つて必要の時に灌漑するから、水さへあれば年中晴天の方が農産物には善い譯。キャルフホルニアが世界一の農業地たるも此の爲めである。だから水代は小作料よりも高いと云ふ珍現象、一年に前述のイチゴ栽培なら八九千圓の純益はある。

普通野菜ならば夫婦二人で六町歩見當、根菜類が二町乃至三町歩、果樹園や色々の野菜物を作る。イチゴ專門と違つて此の方が安全でイチゴは景氣不景氣が多いから十年平均するより詮方はない。大抵收穫は年二回で、販賣方法は貨物自動車に積んで午前一時頃からロスアンゼルスの市場に出荷して委託販賣をする。此の市場は自分も二ケ所見たが實に素晴らしく大規模のもので共

内容は後述する。日本人の經營になるものもあつてキャルフホルニアの野菜栽培に就ては日本人



カルフオルニア州の葡萄園延々何十町歩に連つてゐる。

の地位は大したものである。先日物故した馬鈴薯王の牛島翁を始めイチゴ王ネーブル王葡萄王等の大小の王樣は少くない。

唯此の販賣に市場に出かける時が日本人の危險な時で、何分朝時間も早いので懐は暖まるし、遊びたくはなるしそこは遊ぶに不足はないアメリカの歡樂の世界だ。殊に東京倶樂部など云ふ變な場所があつて一攫千金を夢みて木阿彌になる連中が少くない。折角汗水流して働いた金を女房にも見せられない手合がある。

例のキャンプの住宅は普通間口が二十八尺から二十四尺位、奥行は三十四尺から三十八尺位、千圓以下で出來るさうだから押して知るべしである。氣候は前述の通り暖いから壁など勿論いらぬ板を叩き

つけた丈、博覽會の賣店式と思へば間違ない。

キャルフホルニアに來る日本人で農業目的の連中の樣子は空手で來て大概二年位で四五千圓貯蓄し妻君探しに歸國して妻君と二人が又空手でやつてくる。今度は夫婦で堅實な農家に働いて三年間に六七千圓貯ると子供も產まれるからソロ〳〵獨立して土地を借りて農業を始める。眞面目にやれば一年に少くも四千圓位宛貯蓄出來て二三萬圓貯蓄すると人情の自然故鄉に錦を見せたいから內地に歸りたくなる。渡米以來十年たつと斯樣な心理狀態になる。

始め內地を出掛けた時のつもりで日本に歸ると、案の相違は物價が馬鹿に高くなつて居るし、近所親類の連中は無暗に持ち上げる。更に惡い人間があつて內地の事情が解からぬにつけこんで色々の事業を持ち込んで大概三四年居る中に折角の二三萬の貯金は煙の樣に消えて仕舞ふ。斯樣な手管が本人に氣の付く頃はもう遲いので水田の中に膝までも入つて居る時だから、善い樣にひきまはされて金氣が少くなると人情は冷酷だ。誰も振りかへりもしない上に馬鹿だとかノロだとか冷かされるばかり、アメリカに居る時は久しく憧れた內地も、來て見てもう愛憎が盡きたと今度は家族を連れて又太平洋の潮風を渡る。此の二度目に日本を見限つて來た移民がほんとうに腰の据はつた連中で今度こそアメリカを墳墓の土地と云ふ決心で働くから大分成績がよい。第一回の時には唯の一日も早く金を貯めて日本にと云ふ外考はないから、アメリカ人との交際は勿論日本人同志との交際すらも碌々しない有樣、英語なども大概にして眞黑になつて働く丈である。此の點は大西洋通ひの船醫の話に獨逸移民も同樣で再渡航の移民が永住の移民であると云ふ。

此の日三軒の邦人農家を訪ねたが大同小異で詳しく說明する程のこともないが土地法のために折角仕事半ばで立退を食つた氣の毒の農家もあり、淚のこぼれる樣な悲劇も聞かされた。尙ほ日本と違つて大規模の農業經營にはヨーロツパの各國を見た自分でも流石に驚かされる。愛媛縣人の佐々木君などは胡椒を百七十町步、豆類を三百町步馬糧を百二十町步耕作して從つて、靑胡椒の乾燥場などは實に大した設備、日本の繭の乾燥場など到底比較にならぬ。耕耘も六十馬力の大トラクターを使つて一日十時間で四町步以上耕耘する。二頭位の馬では僅に六反步位のものである。耕馬の價格を聞いたら普通百五十圓上等六七百圓の由、其外葱や人參を三十町步以上も栽培して居る邦人もあつて實に驚くべき大規模であつた。此れもその筈キャルフホルニアの野菜は全アメリカを左右すると云ふ素張らしい勢であるから。

5　邦人農家の一夜

夕方ロスアンゼルスから自働車で友人の中嶋齋藤兩君に案内されてサンタナ町の仁田正助君を訪問する。夕食(ゆふめし)の御馳走になつてから夜の二時迄もとう〳〵談し込んだ。仁田君はロスアンゼルス附近の邦人農家として成功者の一人であるばかりでなく得難い人格者として推稱を受けて居る家族は子供三人で先年長女を亡くされてからは特に永住の決心を堅くして自分等夫婦も娘一人でアメリカに置くのは可哀想だから是非娘の側にアメリカの土になると涙ぐましい談をされる位子煩惱の君である。

同君の農業は此地方でも一種特別で、アスパラガスの專門で尙當夜僕も生れて始めてアスパラガスのフライを頂戴した位、約八町歩餘りを栽培して居る。アスパラガスの栽培は利益も多い代はりに資金もかゝるし、特別の知識と經驗がいる。植へた其年直に收入があると云ふ譯にはゆかない。八町歩のアスパラガスが栽培出來る位の流石はキヤルフホルニアの農業だ。同君の家には自働車もフホードが乘用と貨物運搬用と二臺の外、箱の家族用の自働車もある。一軒で自働車を三臺持つて居るなど日本の農家には夢にも考へられないことである。住宅も永住の決心があるだけに例のキヤンプと違つて心地よい文化的住宅で誠に總てがのび〳〵出來て居る。小供さん達の教育も出來る丈日本の精神も吹き込むし又アメリカ魂も入れたいと云つて成るべく近所の家庭のよいアメリカの小供達と交際させて居る。そのためには住宅や書齋もアメリカ人に笑はれる樣では小供の身がひけるからとあつて仲々教育上の見識も高い。

夜は色々の經驗談に花を咲かす、アメリカの排日に就ても普通の邦人の樣に一概に憤慨や愚痴るばかりでなく、アメリカ人の心持も知り、又自分等在留人の生活振りを反省するだけの餘裕を持つて居る。

アメリカ人は親切かと質ねたら、同君はさも感じたらしく、此の點が排日〳〵と騷いで居る內地人は勿論在留邦人の根本的の誤解で、大體のアメリカ人は寧ろ大變親切で、永年の經驗によると恥しい話であるが在留の日本人同志より寧ろ遙に親切と云つてよい。日本人は同胞であるに拘はらず他の地方と違つて澤山居るせいもあるが兎角近所交際も冷淡で、先年自分の長女が自働車に轢(ひ)かれた時急を聞いて驅けつけてくれた人々はアメリカ人が眞先で或は自働車で或は畑から馬で

かけつけると云ふ具合、そのくせ日本人は來ても遅いし第一冷淡の人が少くなかつた。葬儀の際もアメリカ人は花環を贈つてまるで親類の樣に共に來て悲しんでくれた位、其時自分はしみ〴〵とアメリカ人の人情に泣いた。此れに似た話を他の友人からも聞いたが或時ロスアンゼルスの賑かな街路で日本人がやはり自働車に轢かれたことがあつたが折から通りかゝつた日本人の中にはかゝり合になるのを恐れたか見て見ぬ振をして過ぎ去る者も多かつたがアメリカ人は爭つて來て手傳つたと云ふ。一寸吾々外國を歩いて日本人と云へば何所の人でもが十年の舊知になつた經驗のある者には到底其心理狀態は解し兼ねるが事實ださうであるから詮方ない。仁田君の話によると大體に於てアメリカ人は何も日本人に惡感を懷いてはゐないが少數の政治屋のボスがあつて此れが人氣取に選擧利用に騷ぐのと何所でもならずもの丶勞働者があるから此れが直に排日騷ぎをやる。所が大部分のアメリカ人は多少の好意は持つて居るがかう排日ボスが騷ぎ出した時に日本人を擁護して其誤りを正す程の熱心家は少數の牧師や親日家位のもので極めて少いから誠に困まる卽默まつて排日屋の宣傳を見て居ると云ふ具合、勿論土地法も大原因であるが排日の有力な口實は日本人の出稼根性で前述した樣に一日も早く金を貯めて日本に歸りたいと云ふのが山々で、眞黑になつて働くはよいが子供の教育も自分等の修養も何も構はない。アメリカ人との交際は成る可く避けて日本人だけで集まつて居る。此れは語學の點も大にあるが、アメリカには長く居らないので、旅の恥は何とやらの考が中心になつて居る。桑港の正金支店長の小島烏水氏の話にも同氏が曾て借金催促のために或邦人農家を訪ねた時何度呼んでも家には誰も居らないで、とある木の蔭に生れて百日ばかりの赤兒が顏に蠅だらけになつて泣いて居るが親は一向構はないで二三丁先の畑に働いて居つたから、やつと夫婦に遇つて借金の催促は愚か、子供の養育や教育が大切だからと忠告してほう〴〵の態で引き上げたと云ふ位、多い中には隨分ひどいのもあるらしい。

　現在の土地法もアメリカに生れた日本人には所有權を認めることになつてゐるから、自分等は安心して永住の決心をして居り子供の成長を樂にして居る。現に子供の名で今でも土地を買つて居る位、而して五年に一回位は時折日本に歸れる位の貯蓄は出來るから是非共子供にも日本は見せるつもりであると話された。

　在留邦人の一番困る金融機關に就ては正金銀行や住友銀行の支店があるが内地への送金と預金の吸收が主で在留民殊に農民には殆んど融通しないので、農民としては些の恩惠もなく却つて預

金の吸收に專らだから、事業の勃興を阻害すると憤慨して居るものが多い。仁田君の話でもアメリカの銀行の方が遙に便利で、信用さへあればいくらでも喜んで貸すさうであるが唯アメリカの銀行としての不平は日本人は貸付だけで預金は正金や住友にやつて少しもアメリカの銀行にしないと云つてゐる。加州農業の第一の缺點は此の金融機關の不備と云ふより皆無のことで金のどし〳〵取れる所で資金はなく殘らず本國に吸收してしまふから大した發展は出來ぬ譯、日本政府が唯自國の金の輸出入のバランス取りに汲々として海外在留民の永遠の事業を思はぬのは近視眼の處置と云つてよい。在留民の金融機關もあちこちに當初は出來たさうであるが政府の金融政策のために大概潰れてしまつたが後から始めたイタリー銀行は預金數億を擁して今やアメリカ全土に隆々たる勢を示して居るのと比べて今昔の感に堪へないと云つて居つた。年々キヤルフホルニアの十四萬の移民から四五千萬圓の金を內地に吸收するから、涸れてしまふも無理はない。殖やして取る方法を知らぬ近視眼の日本にも弱つたものだ。

色々の經驗談に夜も更けて午前二時惜しい話を途切つて床に入る。此の邊の土地の値段を聞くと割合に土地も善いので普通一エーカー七百弗乃至八百弗上等の土地は千弗位、現金賣買なら一割引で大概最初四分の一拂つて後は三ケ年賦である。灌漑の費用は井戸が附近にあるので割合に安く一反六七圓である。勞働賃銀も平生は日本人一時間八九十錢で收穫時期は一圓から一圓十錢位、メキシコ人は一割以上安いさうである。一年定めにすると二千二三百圓(千弗)が普通である月定めは少し高い。

朝寢坊をして朝飯を食べた後同君の運轉で附近の日本人農家三四軒訪問、大概十丁位の經營であつた。道すがらアメリカ人に遇ふと仁田君は先に聲をかける。先方も愛嬌よく挨拶する。こうゆう風にれすば決して排日問題は起りませんと仁田君は笑つて居た。

6　オレンヂの品評會

或日農家訪問の折、夕闇に自動車を走らせた所が急に善いオレンヂの臭がするから果物屋でも澤山あるのかと思つたら友人の曰くオレンヂ村に入つたからだと、實際キヤルフホルニアのオレンヂ畑と來たら一時間四十五哩の汽車で走つて一時間オレンヂ畑ばかりと云ふ位廣大なもの、到底日本の內地で果樹園位を見てゐた頭では何とも想像出來ぬ。

二月下旬の好晴の日に大野君に案内されてオレンヂの品評會見物に行く。何でもロスアンゼルスから百十哩ばかりあると云ふが大野君平氣なもので、直隣村にでも行く位の氣持、朝九時過に自身所有の素敵に立派な自動車を自ら運轉して案内される。一時間平均二十五哩と云ふ速力でさまで震動を感じない。以て如何に道路が立派であるかゞ知れよう。アメリカは勿論ヨーロツパでも道路は農村迄コンクリート、之れに道幅は八間以上大抵あるから、自動車のすりかはりなど何でもない、同じ速力で走つて行く。アメリカやヨーロツパでは道路と云へば土の上を必ず煉瓦か石かアスファルトかコンクリートで鋪装がしてあつて日本の様に土を固めただけでは道路と云はない。誠に

カルフオルニア.ネーブル村

美ましい位、ヨーロツパ人が日本の東京の道路を批評して所々に池があると云つて居るが成程魚こそゐないが雨天にはアチラコチラに池だらけ、歐米ではコンクリートだから雨が降れば砂埃が洗ひ去られて却つて道路が綺麗になる。ロンドンやパリーで夜十二時過に水道の管を拔いて道路を洗ふ位、外から歸つて來ても靴は一切脫がずに絨氈の美しい部屋に入るのだから如何に道路が綺麗であるか推して知るべしである。

此頃東京や大阪等で少しハイカラな紳士がよくゴムの舶來の長靴を穿くが、あれはヨーロツパやアメリカでは畑に穿く靴で若しロンドンやパリーであのゴムの長靴を穿かうものなら、あの人はキ印だ位に思はれる筋のもの、恰度東京や大阪の道路は歐米人には畑としか見へぬ譯である。

善道は善政だと云ふが道路の様に民衆の生活に一番關係の深いものから整へてくれるのが政治の要諦、此頃能く流行る下手な盛澤山な教科書式の所謂社會政策よりヨーロツパやアメリカの様に道路でもよくしてくれる方がどの位政治の意義を得て居るか知れない。

話は餘所に外れたがアメリカの道路は實に美ましい限り、廣くて綺麗で自動車はまるで滑べる様だ。學校の兒童が向ふ側に橫切るには道路の所々に白く幅三四寸位の太さにペンキで線が二本引いてあり、其間隔は七八間はある。學校兒童と大書してあり、此の線内では自動車は必らず徐

行させ、若し何か間違があれば理由の如何に拘はらず自動車側の過失とされる。

百十哩の道も實にそよ吹く南風にウト／＼する位の心持で、沃野限りなき農村を走らせて行く行き更ふ途中で二三日前約束して置いた某君が店の前を通つてオレンヂ水の御馳走になつた上同勢が二人殖へる。行々アメリカの禁酒法の話が出ると此の君は日本人の訴訟事件の官選通譯を賴まれるさうで、時々日本人の酒の密造事件が發覺するがアメリカの巡査は又融通のきくものが多くこんな甘い酒を告發して石油を混ぜるよりも罰金の半分も出させて酒諸共に君と山分けにしようと交渉されるには開いた口が塞らないと笑ひ出す。ひどい巡査になると一週間に一回位定期的に酒の催促に來る奴があるさうで米さへあれば酒は出來ると大笑ひ。

やがて目的地のオレンヂの品評會場に着くと實に大したものだ。大きな半永久的のバラックの中がオレンヂの色々の裝飾で綺麗に飾られてオレンヂで出來た家もあれば自動車もある。ラクダもある、汽車もある、活動寫眞もある。音樂隊の吹奏は又賑かなもの、舞臺には今何かオレンヂに因んだ喜劇が始まつて居る。凡そオレンヂを利用して出來る食料品一切が陳列してあるばかりでなく、其製造の行程から試食場まである。よくもまあ集めたもので此の又見物人の多いこと、自動車が何千臺とならんで居る。

オレンヂを箱填めにする所を見ると實に素早いもので、いまし果樹園から自動裝置のトロッコに乘せられて箱が來ると屋内に入る所でトロッコから離れて今度は其箱だけ傾斜のレールを傳つて高さ一丈位の所まで上つてくる。そして其頂點に箱が半分すぎ少し達したと思ふとガタリ箱が前にのめる拍子に箱の中のオレンヂがすつかりこぼれて板で出來た一尺幅位の樋を流れ下る其惰勢で流れ下る中に二間ばかり轉んで來ると樋の底に穴が開いて居つてオレンヂの洩る位の大さの穴、始めは小さく段々大きくなつて樋の中のオレンヂは殘らず洩つてしまふ裝置に出來て居る。而して樋の下には受箱があつて傍に居る婦人が此れも誠に手早に紙につゝんで箱につめこむ。數を數へないでも大きさが同じだからちやんと定まつて居るさうである。何と輕便な機械裝置ではないか。一つ一つ大さを調べながらつめる様なノロマの遣り口ではない所が能率本位のヤンキー流である。

此のオレンヂがどの位の値段かと見るとオレンチ畑の道路に面した所には日本と同じ様に札が下げてバケツに一杯五十錢とか四十錢とか書いてある位に安いもの。馬鹿に安いがさて斯様なオ

レンヂの海の中に入るとまるつきりオレンヂの食慾がなくなるとは不思議の位、オレンヂばかりは日本に輸出したいと當日來た邦人のオレンヂ仲買人が話された位だが太平洋の暑氣と時日に困まるので、オレンヂの表面に蠟を塗れば腐敗がないと云ふ話であつた。

兎に角素晴らしいものでアメリカやヨーロツパの果物の需要は非常なものであるから、よくこんな澤山のオレンヂが消化出來たものでニューヨークやワシントンでもオレンヂ水をビールでもつぐ様に店頭の管からついでコツプに一杯十錢で賣つて居つた。

毎日何萬臺と云ふ自動車を驅つて見物に來るオレンヂの品評會の呑氣さを見ればアメリカの工業的農業の規模の一端が解かる。葡萄や棉花の栽培にして同樣何十哩と云ふのが一面の葡萄園であり棉花畑である。

此の日の行程が二百三十哩夕刻七時頃にはロスアンゼルスの料理屋でビールの滿を引きながら夕食をとられた譯、誠に便利な世界である。

7　日本人小學校

キャルフホルニヤの日本人小學校は二箇所で參觀した。一つはロスアンゼルス市內、他は市外の或村の日本小學校である。

サンフランシスコやロスアンゼルス其他日本人の一箇所に澤山に集合して居る所の小學校は規模も相當で建築などもなか〳〵立派である。然し田舍のものになると二教室か三教室で極めて小規模で建物は勿論教師も夫婦者と他に一二人で教へて居ると云ふ程度である。教師はアメリカの法律で一定の試驗に合格したものでなければ日本人小學校でも教師にはなれない。從つて英語が達者でないと日本の師範學校の卒業生でも直ぐに教員になれない。それに兒童として二重の負擔で午前中アメリカの小學校に通ひ午後日本人小學校に通ふと云ふのだから並大抵でない。

ロスアンゼルス市の日本人小學校は幼稚園からあつて幼稚園生にはアメリカの學校への入學準備として英語を教へる。然し英語の國だからなか〳〵小供だけに覺へるのは早い。何でもアメリカの學校に入學して始めは英語がアメリカ人程にはゆかないが暫くすると追ひ付くさうだから、日本の中學校の英語などは誠に滑稽である。小學校の一年生からはやはり日本の國定教科書を教へるのであるが唯教材が內地向に出來て居るので、雪や鶯や其外色々の話をしても想像のつかぬ

ものが多いさうである。此の意味から云つても、どうしてもアメリカ生れの子供には一度日本を見せる必要があるので毎年春に母國訪問團を組織させて日本に行かせるさうである。授業を參觀したが面白いのは日本語の解からぬ所を英語で說明して居ることで英語と來たら小供程すばらしいものである。語學は自然的にやる程早く熟達すると云ふが子供程速く覺へる。ジュネーブに家族で數年生活して居た日本の役人が巴里に來た時、兩親よりも六つになる娘さんが佛蘭西語が達者で親子三人で相談しながら見物したと云ふ話がある。

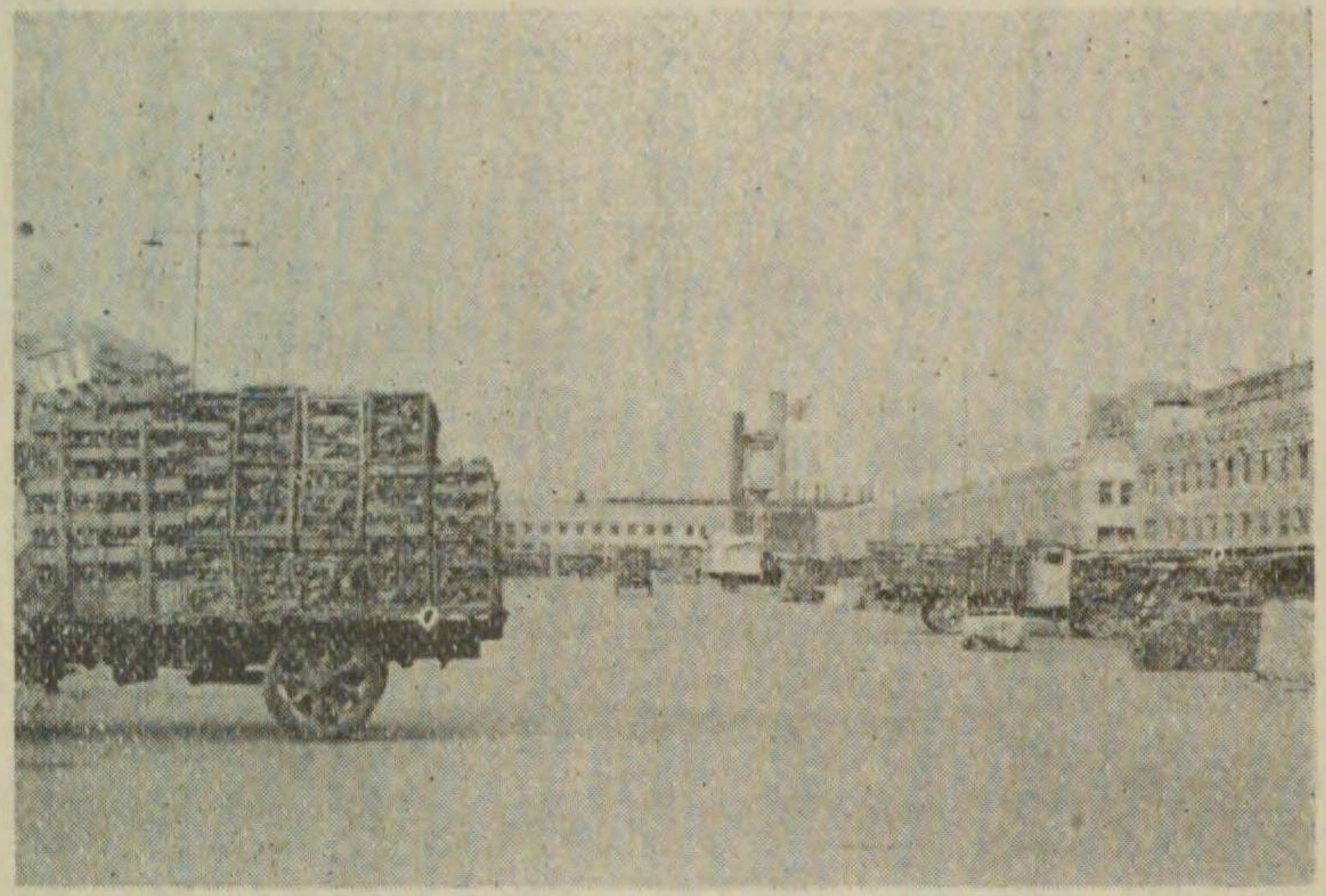
田舍の小學校は通學に便利の所に建てゝあり、敎室と云つても極めて簡單のもので一部は敎員住宅であり、附近の日本人が夜などの集會所でもある。敎師は大概夫婦共稼ぎで、極く家族的に敎へてゐて昔の寺小屋風の面影もある。勿論複式で內容も短時間に敎へるのだから、內地流にやかましいやりかたでない。自分の訪ねた時は恰度夕刻で授業のない時であつたが、村の若者達が五六人敎員室に居つて雜談に耽つて居り、敎師も奧樣だけで至極呑氣らしい生活振であつた。兒童の通學には遠い所は先生が自動車で送り迎へをする所もある。キャルフォルニアの田舍を旅行した時よく目につくのは大きな五十人乘り位の自動車に子供が滿員の有樣、此れは學校通ひの自動車で各學校に何臺もあるさうである。自動車の特に廻り道の所は兒童が或點まで時間に來て待つて居ると乘せて行く、步く區間の遠近によつて學校から兒童に金をくれるさうだから全く噓の樣な話である。

8 世界一の青物市場

名古屋の枇杷島市場が日本一だと云ふ東京の神田の青物市場も日本では有名だが、ロスアンゼルスの青物市場に比べては恰度チョン髷(まげ)時代と自動車時代との相違、桁が違つて御話にならぬ。ロンドンのコベントガーデンの青物市場などもロスアンゼルスのと並べたら大人と小供だ。エヂプトのカイローの青物市場が世界有數だと聞いたので北大の星野敎授と二人で布帽(ターバン)を無造作に卷きつけたエヂプト人の馬車に乘つて出掛けたが道をどう間違へたかアチラコチラ引廻はすので例の手ぢやないかと內々警戒したが偖て着いて見ると成程熱帶地のことゝて品物は澤山あるが設備は矢張り馬車時代のものだ。

ロスアンゼルスの青物市場は先づ世界一の名に背かない一切の設備が最新式、周圍に市場の建

物があつて中庭の廣いこと入口と出口と別にあつて秩序は整然、此中庭に貨物自動車が順序よく



米國カルフオルニア州ロスアンゼルス市の有名な青物市場

並らべられてあり、枇杷島や神田の樣に出盛りには荷動きの出來ないのと雲泥の差、野菜果物其他品物に依つて取引所が區劃されて居り、一方貯藏の倉庫は又實に宏大のもので、廣軌の列車は堂々と倉庫の前に横付けとなる。而して此の市場で取引した品物はアメリカは勿論世界各地に運ばれる。僕の視察した日にはメキシコ地方からキャベツが入つて來たと云ふので列車の貨車に滿載、二月下旬でも貨車は一切冷藏庫だ。日本の鐵道の樣に一番進んで居ると云ふ東海道線に夏の盛り愛知縣から鷄卵を運ぶに冷藏車が無いと云ふのとは大違ひ、倉庫の中の冷藏装置は完全したもので、氷などで貯藏するのでなく製氷所と同樣の装置があつて氷點以下の空氣をどん／＼送り込む。外は八十度位の暑さだが倉庫の中は霜を結んで眞白、雪をつけたのかと怪まれる位、鷄や牛豚肉の部屋に行くと屠殺して皮を剝いだまゝのものがカン／＼に凍つてゐてミイラの樣だ。野菜物の部屋は左程の寒さでない、此に依つて濕度が調節してある。市場の景氣に依つていくらでも貯藏して置く、倉庫の視察中急に北極に入つた樣に薄着のためにブル／＼したのは時に取つての滑稽であつた。

野菜物の運搬の設備も整つたもので、貨物用のエレベーターは澤山にあり、荷造りなど手早くしつかりとやつてゐる。悉く專門々々で日本の樣な八百屋ではない。最も感じたことは市場の設備が清潔に衛生的に出來て居ることで屋内は勿論中庭の廣場も總てコンクリート、絶えず掃除の人夫が居て取り片づけて居る。

市場の支配人に遇つたら、どうも御恥しい設備で何も御目にかけるものはありませんと大變謙遜して、此頃日本から色々の視察者が見へますが何ういふ譯ですかとの質問、都市計劃や中央市場をつくるためですと答へたら、どうせ作るならこんな設備のものより最新式のものを作つたらと何處迄も腹は大きい。加州の蔬菜が世界一の盛況を見たのは日本人の御蔭です、蔬菜の栽培は

日本人に限りますと愛嬌は馬鹿に善い。

此の外に日本人が主として經營して居る市場も視察したが、小規模ではあるが大したもので、仲々秩序的に大きくやつて居る。

加州の蔬菜で一番困まることは大量生産のため價格に相當の變動あることゝ、アメリカの農民は仲々相場をやるから、時にひどい目に遇ふさうである。ニューヨークで或人の話に一昨年アメリカで小麥始め農産物の價格が段々よくなつたから、生絲の需要は殖へるにより價格も高くなると總領事や玄人の原三井の連中迄報告したが一向其後よくならないので、どうしたことかと調べたら、アメリカの農民は生産費を考へて收穫せぬ中に大抵定期で賣るために、今相場が上つても之れは商賣人の儲けとなるだけで、農民は却つて農産物の騰貴につれ他の生活必需品が高くなるので生活は却つて苦しい位、農民の景氣のよくなるのは來年迄此の値段が續かねばならぬと云ふことが解かつたさうだ。こゝらは農民でも一寸アメリカ式で日本人には想像つかない。

9　花賣り百姓

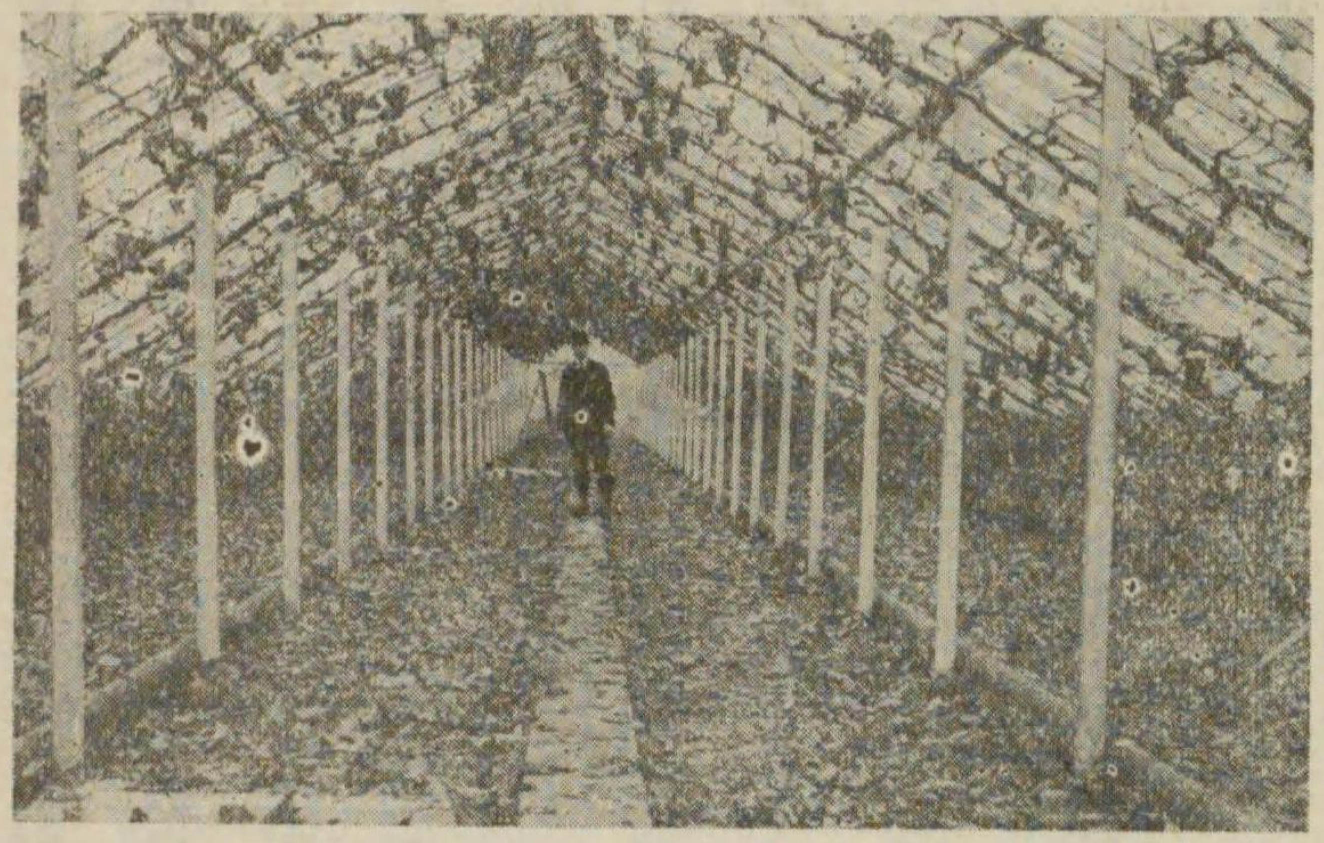
流石はアメリカである。花賣り商賣の儲かること、東京や大阪の様に花賣り店がハイカラな文化式の建物で出來て居るのではなく、道路の兩側にホンのバラツク式の建物かテントで充分であるから驚く。

こゝはロスアンゼルスの別荘地帶のハリウツドと商業都市との中間、十八間道路の兩側に粗末なバラツクの建物とテントがあつて、色々の切り花が陳列してある。賣り子は若い日本の奥さん達で男子も一二人手傳つて居る。何しろロスアンゼルスには人口三人に付自動車が一臺宛と云ふ所で自動車數無慮四十三萬臺、此の多數の自動車が動いて居るのだから素張らしいもの、殆んどひつきりなしに一時間二十哩以上の速力で後から後からと來る自動車が、此の花屋の前に來ると一寸自動車を止めて降りて來る人もあれば車の中から買ふ人もある。大抵一束五十錢位の切り花を買つて行く、五六人の賣り子で忙しい位、大した賣れ行きで平均一日に三四百圓、多い時例へばクリスマスとか復活祭とか云ふ時には日に千圓以上も賣れる。

アメリカで何故斯様な花賣りが善い商賣になるかと云ふと、アメリカ人はヨーロツパ人も同様であるが花を非常に好いて、日本ならば人を訪問するに手土産に菓子や品物を多く持つて行くが

アメリカでは此の切花を土産にすることが大變盛んで病氣見舞の時は固より何かにつけ此の花が珍重される。日本流に菓子や其他の手土産より手輕で床しい贈物、一日働いた勞働者が――勞働者でも自動車で通勤する――歸りに花を買つて行くなどは其心根は美はしい限り、どの位終日勞働の慰安になるか知れない。僕の經驗だがアメリカの四日もかゝる横斷鐵道の食堂車内のテーブルにスヰートピーの一輪ざしなど誠に蘇み返へる氣持で思はず食慾をそゝられる。而してアメリカ人は無雜作の形式を嫌ふ國民だから、立派な花屋の建物の中に入つて買ふよりも、斯樣なバラツク式の手輕の所で買ふのが彼等の氣質に合つて居る點で、若し相當な建物にてもしたら却つて賣れ行きが悪くなる位。

此の花賣りの花造りの方法はやはり日本人の御得意(おはこ)で、例の豌豆(スヰートピイ)の花などは澤山に栽培して摘んでは咲かせ摘んでは咲かせと云ふ具合に段々に莖を伏せて咲かせる。唯一二月頃は時折薄霜が降る處があるので、畑の上にテントを張る設備が必要、此のテントと云つても針金が張つてあつて綱を引くと自動的にテントが張れる樣になつて居る。兎に角露地でスヰートピーが一月頃咲くのだから以て氣候を知るべしである。唯此の花作りで困まるのは前述のクリスマスや復活祭其他色々の祭日に使ふ花が定まつて居つて、其時機迄に遲速なく恰度咲かないと各値段が急に安くなるから、巧(うま)くやらねばならぬ。氣候の加減があるので此の點に苦心を要するさうである。



カリフオルニアの溫室(グリーンハウス)

此の外、色々の花は溫室の栽培者があつて大量に栽培して居るから仕入れに行く、何でも朝早く朝食前に自動車で行くのである。此の溫室(グリーンハウス)も二つばかり見たが實に大きさが一町歩位もある硝子で作つた溫室、日本の溫室などはまるで此に比べると玩具(おもちや)である。薔薇(ばら)百合の花が澤山に栽培してあつた。僕の見た硝子建物の一番大きいのは例のロンドン郊外にある有名な水晶宮(クリスタルパレース)で實に堂々たるもの、高臺にあつて數里離れたロンドン市内から砲臺でもあるかと思はれる位、或友人とのクロドイン飛行場にパリ行の友達を送つた時、其友人が歐洲大戰の時ドイツの飛行船や

飛行機を防いだ高射砲臺だと說明されたが此の水晶宮の誤りで先年萬國博覽會を此の建物の中で開いたと云ふから以て其大規模を知るべきである。現在は色々の觀覽場となつて居り、世界一大きいピアノなども此所の一部の音樂堂にあつて一日に何回か奏せられて居る。

其の次のは此れもロンドンの日英博覽會をやつて、日本式庭園で有名なキューガーデンにある溫室で又實に素晴らしい大きなもの、ガラスでよくもこんな大きい溫室を作れたと感心した。此等は何れも營業本位の溫室でないから贅澤な眞似も出來るがロスアンゼルス郊外の溫室は商賣人の經營だから又驚くべきもので、ガラスでこそあれ日本の紡績工場の樣な建物が延々として横はつて居る。確に一町歩位の大きさはあらう。此等のいくつかある溫室の花が賣れるのだから以てアメリカ人の花好きを知るに足りよう。

10　世界の馬鈴薯王

サンフランシスコの帝國ホテルの應接室で不圖知己になつた井上勇太郎君の案内で有名なスタツクトンの馬鈴薯畑の見物に行く、桑港から汽車に乘つてスタツクトンに着くと井上君の邸宅で晝飯の御馳走になり、此れからモーターボートで出かけると云ふから、はて不思議な、畑を見に行くに船では可笑しいと思つたが云はれるまゝについて行く。

海か河か得體の知れない所をモーターで勢ひよく行く、何でも二十哩以上も畑に行くにかゝると云ふから驚いた。三月初めで春は既に滿野にこめて居るが水上のモーターは流石に寒い。やつと辛棒してとある島に上陸すると成程馬鈴薯の山だ。南京袋につめた俵が何千俵とある、事務室や農舍を見物して畑に出ると廣いもの、約千二百町歩位あると云ふ。此れが一つかと聞いたらまだいくつも外にあるとの話、井上君は年配五十を越した立派の體格の持主で、以前は今春不幸逝去された有名な馬鈴薯王の牛島家の支配人であつたさうで近頃は獨立して經營して居る。牛島翁は相惡く腦病で面會出來なかつたから井上君が案内してくれたのである。

どうしてこんな川か海の中に畑を作つたかと聞いた所が、こゝが牛島翁の豪い所で、此等の島は二十餘もあるが、太古以來の蠻地で云はゞ沼地であり、何萬年も棄てゝ顧みられない不毛の地であつたが、一度偉人牛島翁に見付けられると此れを排水したら無肥料で歐米人の米とも云ふべき馬鈴薯が栽培出來ると云ふので、ポンプの大きいのを入れて排水すると共に堤防工事を充分に

築いて立派な乾地にした。乾地にして此れを畑にし大規模に例の馬鈴薯を主に栽培した。何しろ開闢以來の處女地であり、腐敗した濕地であつたから肥料は少しも入らないし、地代は只と云ふ譯だから、馬鈴薯の様に肥料を澤山に食ふ農作物には持つて來いで五年間は無肥料で作れた位、愈々肥料が入用の時になると又堤防を切つて水を入れ、又何年か有機物の自然に腐敗する迄そのまゝにして置いて他の同様の濕地を乾かして作る。斯様にして二十箇所もある所を輪作する。馬鈴薯の相間には麥や野菜等も作る。實に數萬町歩に渡る大農經營で世界一の名を擅にしてゐる。

井上君も餘程大面積に作つて居る、唯戰時中及戰後一二年の間は世界的に馬鈴薯の大缺乏を告げたゝめ大變儲かつたが二三年前から生産過剩で流石の馬鈴薯王も大困惑、荷物を出せば出す程損害が大きいので何でも三百五十萬圓位の損害だらうと云ふから兎に角大きいものである。

牛島翁の別莊などをのぞいてモーターでスタックトンに歸つたのが夕刻隨分廣いものであつた馬鈴薯は歐米人の云はゞ米であるから其需要も多く又料理法も様々ある。其品質も立派のもので日本の甘藷の様に大きい。世界的に云へば其産額は米よりも遙に多いものであるが其馬鈴薯王が日本人であるのは鼻の高い譯であるのに遂に逝かれたのは惜みても餘りあることである。（終り）

昭和五年二月二十日印刷
昭和五年二月二十四日發行

不許複製
著作權所有者

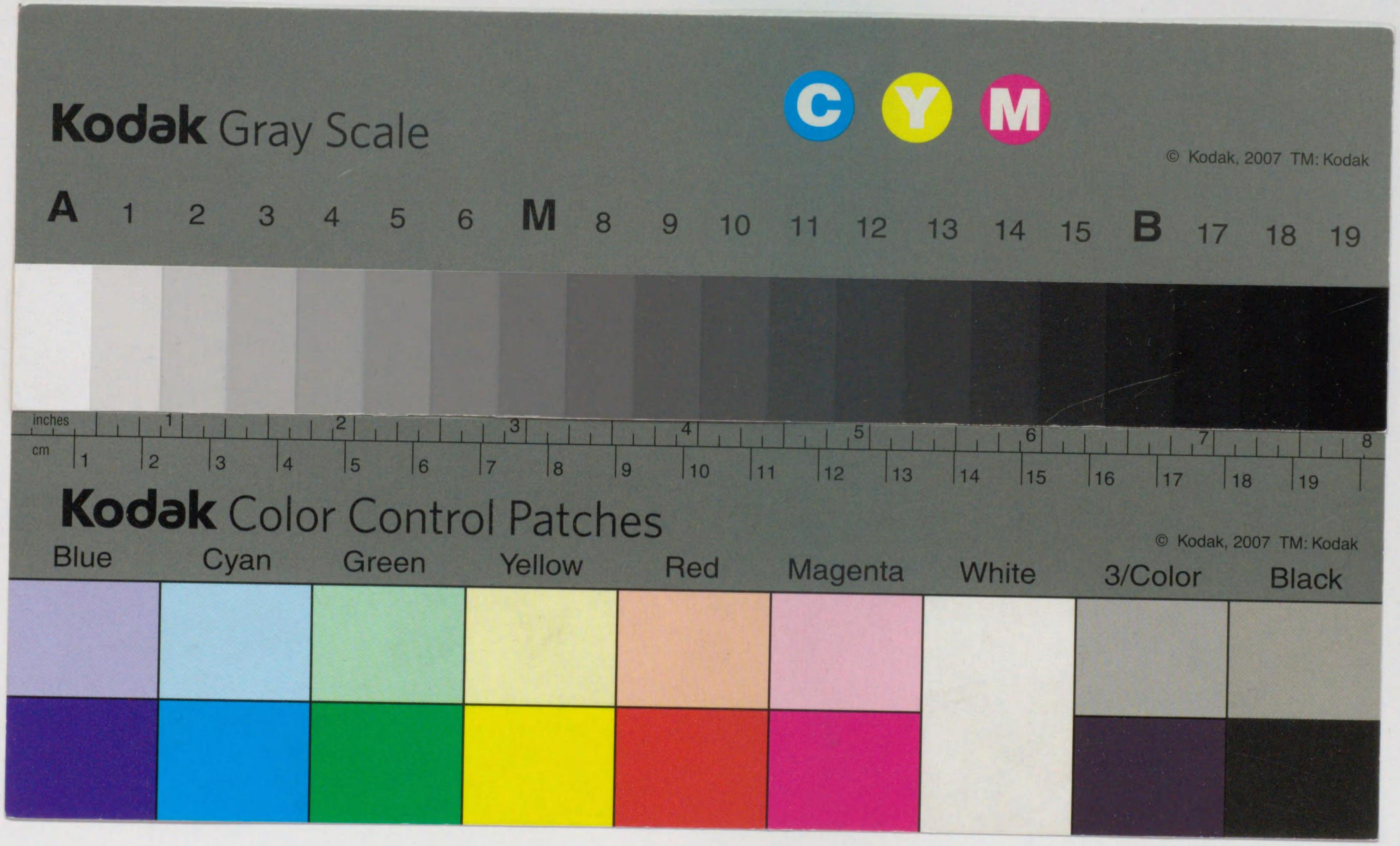
正價金壹圓參拾錢
郵税金拾八錢

著者　東京市小石川區春日町五十番地　横尾惣三郎
發行者　東京府杉並町成宗五十七番地　農村研究會代表者　依田源七
印刷者　東京市神田區表猿樂町二番地　中村修二
印刷所　東京市神田區表猿樂町二番地　株式會社開明堂東京支店

發行所　東京市京橋區宗十郎町十二番地　新愛知新聞東京支社内
農村研究會
電話銀座　四五〇〇・四五〇一・四五〇二
振替口座東京四七七七六番

599
226

横尾惣三郎著


Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19
inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black